春風目録新聞

特集

家族の風景

池内紀　ピーコ　佐々木幹郎　堀江敏幸

春風社
Shumpusha Publishing Co., Ltd.
〒220-0044
横浜市西区紅葉ヶ丘53
横浜市教育会館3F
TEL (045)261-3168
FAX (045)261-3169
www.shumpu.com
✉ info@shumpu.com

目録

哲学・思想・宗教 1 2
文芸評論 2
文学 2 3
写真・音楽・芸術／詩歌・俳句／立教大学人文叢書／観光／健康／総記・辞典・事典 3
政治・経済／生き物／環境／技術・工学 4
言語 4 5
教育／マスメディア／心理／スピリチュアル／アジア史 5
社会・歴史／人類学 6

連載

翻訳ピンチ！
中条省平 2
日々の風
長谷川宏 3
ポストモダンの処方箋
白井聡 4
mini大河
しりあがり寿 5
思想の場所
中島岳志 6

コラム

中華街プチトリップ
伊藤まさこ 5
自著を語る 3
この研究室が面白い！ 4
本屋に行こう 5

写真：橋本照嵩

小津安二郎は、家族がゆるやかに崩壊していく様を、愛惜の念をもって静かにフィルムに写し撮った。『東京画』というドキュメンタリーのなかで、ヴェンダースは確かそんなふうに語っていた。家族というのは永遠ではなく、形を変え、ほどけ、崩れ、いつか消えていく、だから愛しく、だから哀しい。ぼくの家族のイメージはそんな感じ。みなさんはどうだろう。（編集部）

彼と引き算

池内紀

黄ばんだ写真で、まん中に老人夫婦、左右に長男と次男。長男のわきに妻と五人の子ども、計十人。裏に達筆で「昭和二十二年」としるされている。戦後まもないころで人みな貧しく、写真どころではなかったはずだ。土地の顔役だった祖父が、何かの名誉職についた記念にでも撮ったのか。五人の子どもの左から二人目は、このとき数えで七歳。彼の姿を地上にとどめている最初の写真である。

記念撮影の翌年、祖母と祖父があいついで死んだ。二年後に父が死んだ。彼が高一のとき、兄が事故で死んだ。父の弟がアル中で死んだ。彼が大学を出たとき、母が病死した。計十人の家族アルバムは、十年あまりで四人になった。

彼は家族というと、即座に引き算を連想する。一つ、また一つと引いていく。死は引き算であって、昨日までいた人が今日はもういない。もっとも、家族だからといって、父や母がいなくてはならないわけのものでもないのだ。それが証拠に父や母がいなくても、現に自分がここにいる。

そんな彼が結婚して家庭をもった。一人、二人と家族がふえたが、彼は足し算など信じていない。いずれ引き算になる。せき立てるように子どもを独立させて、家から出した。あとは最後の引き算に立ち会うか、立ち会ってもらうだけ。

彼は家族の幸せを冷やかに見ている。ほんの一つの引き算で、あっけなく崩れることを身にしみて知っている。それにわが家の幸せを言う人は、必ずやわが町、わが国の幸せを主張する。さらに彼らはつねに足し算主義者である。家族アルバムを年賀状に仕立てて送ってくる人がいるが、年ごとにふえて、今年は三代にわたる十八人が写っていた。

引き算家族で成長した彼は、言葉を生活の糧にした。これは自由に足し算がきくからだ。さらに割り算や掛け算を組み合わせると、いとも玄妙な世界が生まれる。そのゆたかさにくらべると、現実世界はなんと貧しいことだろう。

私の家族

ピーコ

昨年の三月と十二月で父と母の三十三回忌を済ませました。

九月には長姉が亡くなり、私の家族はすぐ上の姉と双子の弟の三人だけになりました。

私とおすぎが生まれたのは、第二次世界大戦の終盤でした。生まれて四カ月後に横浜に空襲があったと聞いています。

父と母には私達が生まれる前に長男が授かっていたのですが、三歳の頃に流行病で亡くし、その後は長女、次女、三女と姉妹が続き、男の子が欲しいと願っていた時に出来たのが双子の男の子だったので、父と母には大変可愛がられて育てられたようでした。

小さな頃に住んでいた近所のおばさんに大人になってから久しぶりに会った時に「あなた達がどこにいてもお父さん、お母さんが迎えにいくような可愛がりようだったわよ」と言われました。

【2面につづく】

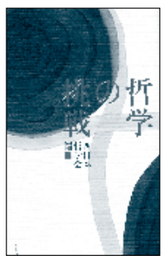
家族の肖像

佐々木幹郎

樹脂でつながれたアフリカの猿の骨は
空中を歩いている
その前を
腰をかがめて
骨だけになったわたしの祖父が歩いている
顎を開けて何かを食べているのだが
木の実なのか草なのか
わたしにはわからない
頭蓋骨はところどころ割れていて
右の眼窩の上に大きな穴がある
岩から転げ落ちたときの
晴れやかな勲章だ
その前を
少女の骨が歩いていて
あれはたぶん母だと思うのだが
笑いすぎていて
下顎の骨がなくなっている
博物館では
祖父から母へ進化したという説明板が掲げられている
後頭部の大きさが違うだけで
進化したと言えるのかどうか
わたしは　母の骨の前で
いまもときどき考えたりするのだが
考えることができるようになったのは
どうやら
わたしの頭蓋骨が生まれてかららしい
顕微鏡で見ると
骨のまわりに花粉がついていて
友人たちがわたしの死を悲しみ
墓穴に花を投げ入れた証拠だそうだ
墓を造ることが進化なのか
悲しむことが進化なのか　わたしにはわからない
博物館の入口では
ガラス板の上に十六ミリの砂ねずみの全身骨格
その横に　千六百ミリの象の脛の骨
象の脛は何も言わないが
砂ねずみは眠りながら
かぼそい声でいつも唄をうたっている
彼女がうたえるのは　骨の唄だけだ
声は中央アジアの風の色をしている

自由と尊厳を超えて
Beyond Freedom and Dignity
B・F・スキナー
山形浩生 訳
自由と尊厳の見方をくつがえし波紋を呼んだ心理学屈指の名著、待望の新訳。
ISBN978-4-86110-341-4　¥2500

哲学◎思想◎宗教



哲学の挑戦
西日本哲学会編　どんな時代、どんな場所でも、もろい殻に包まれたかけがえのない魂が存在する限り、哲学はなくならない。豪華執筆人による最前線での格闘の記録！［四六判／二九四〇円］
ISBN 978-4-86110-335-3

啓蒙と反動
青地伯水（京都府立大学教授）**編**　主にドイツ語圏の文学作品を素材として、近代から現代にいたる啓蒙と反動的思想のせめぎ合いの歴史に新たな光を当てる。［四六判／三一五〇円］
ISBN 978-4-86110-362-9

新しい国家―海辺の別荘で教養と信仰と哲学を語り合う
W・H・マロック著／澤井勇（実践女子大学名誉教授）**訳**　一九世紀イギリスにおける合理主義・物質主義とキリスト教信仰の葛藤を描きだす幻の名著、待望の翻訳。［四六判簡易フランス装／二九四〇円］
ISBN 978-4-86110-319-3

仮説法の倫理学―ポー・パース・ハイデッガー
村上隆夫（群馬大学教授）　現代の倫理学を特徴づけるものは何か。パースのプラグマティズムを軸に、カントやニーチェ、ハイデッガー、ポーを参照しつつ描き出される倫理学の歴史的展望。［A5判／五八八〇円］
ISBN 978-4-86110-309-4

同一性の形而上学―映画・SF・探偵小説
村上隆夫（群馬大学教授）　古代円形劇場から近代の半円劇場、現代の映画へ。「同一性」を救い出す哲学の試み。［A5判／五八八〇円］
ISBN4-86110-059-3

〈文化〉の思想―現代日本の位置から
西欣也（甲南大学教授）　アドルノや丸山真男を補助線としつつ、西田から柳田、九鬼、和辻、中井正一、江藤淳と吉本隆明を経てポストモダン思想まで、近代日本の思想を呪縛し続けた〈文化〉の概念をとらえ返す。［四六判／二三一〇円］
ISBN 978-4-86110-323-0

リハビリテーションの哲学あるいは哲学のリハビリテーション
稲垣諭（東洋大学助教）　病を生きる患者の体験に接近するために哲学的思考を導入する。そのとき、人間の経験の未知の領野がたちあらわれる。臨床と現象学を結ぶ新たな哲学！［四六判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-303-2

サルトルとマルクス―見えない『他者』の支配の陰で―II万人の複数の自律のために
北見秀司（津田塾大学教授）　フーコー、ドゥルーズ、デリダ、ネグリの「後の」サルトル。未公刊「ローマ草稿」をふくむサルトルの全哲学を縦横に展開し、真の民主主義の可能性を探求する。［四六判／各巻三五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-213-4
ISBN 978-4-86110-214-1

『方法叙説』をめぐる六つの試論―日本の思惟と西欧の思惟に介在する深淵
小林利夫（小林利夫フランス語教室創設者）**著／徳永雅**（関西学院大学他兼任講師）**編**　デカルトを嚆矢とするフランス哲学はもとより、西欧の言語及び西欧人の思惟の根底に迫る。西欧の言語と思想に関心をもつ読者への最良の入門書。［四六判／三八〇〇円］
ISBN 978-4-86110-254-7

世界内存在の解釈学―ハイデガー「心の哲学」と「言語哲学」
荒畑靖宏（成城大学准教授）　「言語」の観点から、英米哲学とハイデガーを接続。『存在と時間』の不整合を指摘しつつ、後期思想につながる精髄をえぐり出す。［四六判／三三〇〇円］
ISBN 978-4-86110-182-3

ヤスパース―人間存在の哲学
吉村文男（奈良産業大学教授・京都教育大学名誉教授）　DNAなどの「客観的事実」へ人間を還元する時代の趨勢のなかで、「永遠の哲学」者ヤスパースは、われわれに何を開示するのか？［A5判／四八〇〇円］
ISBN 978-4-86110-260-8

学び住むものとしての人間―「故郷喪失」と「学びのニヒリズム」を超えて
吉村文男（奈良産業大学教授・京都教育大学名誉教授）　危機にある日常の営みを哲学的に考察し、人間中心主義の陥穽に挑む！［四六判／二九四〇円］
ISBN 4-86110-078-X

小林秀雄とウィトゲンシュタイン
中村昇（中央大学教授）　ウィトゲンシュタインやデリダ、ベルクソンなどヨーロッパ思想を経由することで浮かびあがる、小林秀雄の知られざる核心。気鋭の哲学者が明かす、言語哲学者としての小林！［四六判／二六二五円］
ISBN 978-4-86110-106-9

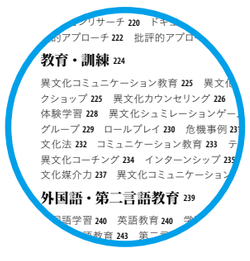
ちいさな哲学
長谷川宏（哲学者）　食、医療、身内の死など、ささやかな日常の風景に隠れている真実をみつめる。公害病に押しつぶされながら沈黙を強いられた水俣市民の姿を描く幻の論考を収録。著者待望のエッセイ集！［四六判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-192-2

犠牲と身代わり―記憶できないものをめぐって
長田陽一（京都光華女子大学准教授）　死の代理不可能性をめぐるハイデガーとレヴィナスの議論などを補助線として、記憶を成り立たせている外部性＝記憶の他者へと迫る。［四六判／二三一〇円］
ISBN 978-4-86110-275-2

待つしかない、か。―二十一世紀 身体と哲学
木田元（哲学者）／**竹内敏晴**（演出家）　哲学と前衛演劇―異なる分野で戦後日本をしぶとく生き抜いてきた二人が思想と身体、絶望と希望をめぐり激しく語り合う。（品切）［四六判／二三一〇円］

教養主義者・河合榮治郎
青木育志（アナリスト）　思想家であると同時に稀有の教育家でもあった河合をさまざまな角度から照らし出すことで、現代における教養を改めて問う。［A5判／三一五〇円］
ISBN 978-4-86110-320-9

文化とコミュニケーションにかかわる広大な領域をカバー！
異文化コミュニケーション事典
ENCYCLOPEDIA OF INTERCULTURAL COMMUNICATION
初めての本格的な総合事典
項目数 727
執筆者 155名
［編集代表］石井敏　久米昭元
［編集委員］浅井亜紀子　伊藤明美　久保田真弓　清ルミ　古家聡
辞書としての機能と解説書としての機能を一冊にまとめた画期的な事典
◎多文化・多言語が共存する国際社会に生きる現代人必携・図書館必備の事典。異文化コミュニケーションにかかわるキーワードはもちろん、「国際理解教育」「日本文化論」「多文化共生」など、密接に関連する用語を網羅。
◎各項目について、❶用語の定義、❷具体例を示しながらの解説、❸研究・教育上の課題や今後の展望を提示。
◎研究者、教育関係者、国際業務に携わるビジネスパーソン、自治体の国際交流課、地域活動家、学生にとって待望の一冊！
［A5判上製・六五〇頁／七九八〇円］
ISBN 978-4-86110-333-9



旅する対話――ディアスポラ・戦争・再生
姜信子（作家）
ザーラ・イマーエワ（映像ジャーナリスト）
在日三世の作家と、亡命チェチェン人ジャーナリストが、朝鮮民族とチェチェン人が追放された悲劇の荒野を舞台に、故郷喪失者のまなざしで世界を見つめ、語り合う。3・11を超え不穏の色を濃くする日本への警世の書！　DVD付き。
［四六判並製・二六〇頁／一八九〇円］
ISBN978-4-86110-350-6

シリーズ 来たるべき人類学4
アジアの人類学
片岡樹・シンジルト・山田仁史 編
アジアのまなざし方、フィールドワーク論から始まり、「焼畑」「牧畜」「狩猟採集・漁撈」「モノ」「親族・ネットワーク」「ヨーロッパの中のアジア」など、人類学の視点でアジアを捉える。人類学の未来を開くシリーズ、ついに完結！
［四六判並製・三四〇頁／二五〇〇円］
ISBN978-4-86110-357-5

昭和戦前期の少年教護実践史〈上・下〉
佐々木光郎（静岡英和学院大学教授）
不良の子らがいかに保護・養育され教育されたかの歴史はほとんど顧みられてこなかった。農業実習を含む昭和戦前期の教護実践を精査し、自然との触れ合いが不良の子らに及ぼした影響、陶冶（とうや）力を検証する。
［四六判上製・四二〇頁／各三六七五円］
ISBN978-4-86110-330-8

自分達はあまり実感がないのですが、今想い出してみると、思いあたることはいくつかあります。

私と弟は赤ん坊の頃から中学を卒業するまで、ずっと同じものを着せられていたのです。

子供の頃に違うものを着せていると、どちらかが早死するという昔からの言い伝えを信じていたらしいのです。

高校に入学した時から、それぞれ好みのものを着るようになったので、父も母も本当に信じていたのでしょう。

終戦で父が経営していた町工場を失いましたが、貧しい生活の中、月に一、二度、私達家族は洋画を観に行き、レストランで食事をする習慣がありました。

ディズニーの「白雪姫」や「シンデレラ」を、日本で公開されると同時に観た事を今でもはっきりと憶えています。

そんな父と母は、一度も勉強しろとは言いませんでした。

母は「貴方達より弱い立場の人に優しくしなさい。優しい人に育てばいいから！」と、ゲイであることも認めてくれていたであろう両親でした。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

反応なしで肯定すること

堀江敏幸

他者に対する想いは、返信がないかぎり届いたかどうかわからない。宇宙空間を旅する探査船への指令をひとつの想いのかたちと見なすなら、巨大なパラボラアンテナを介した案ずる者の想いは、指標に到達し、実行され、結果が折り返されるまでの時間として算出可能だ。しかし定められた時間内での待機は、逆に不安を募らせもする。

無反応を前にした心の揺れは、たしかに大きい。それでも、人が人の現在や未来と向き合うとき、私たちは一定時間内での折返しを期待しているわけではないし、目に見える応えがないからといって、相手がこちらを無視しているとはかぎらないのだ。反応の表と裏のあいだの曖昧な部分に留まっていたほうが、むしろ伝えたり伝えられたりする可能性が高いのではないか。

言葉のやりとりを否定しているのではけっしてない。伝わるか伝わらないかの不分明な箇所をそっと放置しておきながら、年とともに衰えていく他者の声の受信能力を補う、新たな三半規管を育てたいだけの話で、その養育の場として最もふさわしいのが「家族」だと思うのである。何億光年の彼方ではなく、毎日顔をつきあわせて言葉を交わし、言いたいことを言い合いながらも、最後には先の曖昧さを、たがいに《反応なしで》深く肯定しあう者の集まりとしての「家族」。

ひとりで生きていかないための、また真の意味においてひとりで生きて行くためのすべてが、そこで培われ、試される。大切な存在に、傷の少ない未来をいかに与えるかを考える準備段階として用意された、いちばん近くて遠い未開拓地、いや、開拓はされているのに、新しい石が次々に掘り出される永遠の開拓地に自分の足で立てるのはとても幸運なことだ――、たとえその足場が吊り橋のように不安定であったとしても。■

中条省平◎翻訳ピンチ！

11 どえりゃあ難儀だも

新たな翻訳の題材が決まりました。アンドレ・ジッドの『狭き門』です（光文社古典新訳文庫）。

大昔にフランス文学の必須教養として読んだ憶えはありますが、そもそも愛と信仰の相剋といったテーマが私のような無信仰の輩にはぴんと来なかった気がします。

そのうえ、山内義雄の名訳以来（九〇年前！）、竹友藻風、伊藤整、川口篤、淀野隆三、新庄嘉章、中村真一郎等々と、幾多の翻訳があるので何をいまさらと思ったのですが、久々に原文を読んでみると、これが宗教的偽善からは遠い、穏やかに澄んだ調子で、とても現代的に感じられました。

そこで、原文の清新さにふさわしい新たな文体を開拓するのもいいかも、という気持ちが起こったのです。起こっただけで、まだ翻訳は手つかずですが、それというのも、始まりでちょっと考えこんでしまったからです。

本書の冒頭には、新訳聖書「ルカ伝」から引用文が掲げられています。この本の有名なタイトルは聖書からの借用なのです。

「力を尽して狭き門より入れ」

うう、カッコいい。だが待てよ。今回の新訳では「現代性」を重視しようと基本方針を打ちたてました。それなのに文語訳聖書の荘重さに頼るのはいかがなものか？　ここはやはり口語訳で行こうと思い、分厚い聖書（新共同訳）を開いてみました。

「狭い戸口から入るように努めなさい」

あちゃー、ダメだこりゃ。

新訳『狭い戸口』。格調高い愛と信仰のドラマが、乞食か泥棒のセコい手口の話になってしまいます。

かつて丸谷才一は口語訳聖書のだらけた訳文を口をきわめて罵倒しましたが、さもありなん。とはいえ、中丸明氏の『絵画で読む聖書』のように、聖書の言葉は当時の方言だというので名古屋弁にする勇気も語学力もありません。

「どえらけにゃあ臭あなっとるだ。死ねゃあてから、もうひゃあ（既に）四日もたっとるでなも」（ヨハネ伝）

どうしたらいいでしょう？

（学習院大学・仏文学）

イラスト：たけなみゆうこ

好評既刊

中条省平「ただしいジャズ入門」

文芸評論

河合榮治郎の社会思想体系 ―マルクス主義とファシズムを超えて
青木育志（アナリスト）人格主義と理想主義にもとづく「第三期自由主義」を唱えつづけた思想家の再評価をうながす。［A5判／三九九〇円］ ISBN 978-4-86110-272-1

ロールズ 誤解された政治哲学 ―公共の理性をめざして
堀巌雄（研究者）博士論文から没後の著作までを丹念に読みとき、その新たな可能性を汲み上げる！［A5判／四九三五円］ ISBN 978-4-86110-112-0

滝沢克己を語る
三島淑臣（九州大学名誉教授）／**監修** 西田幾多郎の哲学とキリスト教神学を融合した独創的な思想家を多角的に語る。［四六判／三八〇〇円］ ISBN 978-4-86110-206-6

新井奥邃著作集
工藤正三（新井奥邃先生記念会幹事）・**コール ダニエル**（福岡女学院大学准教授）**共編** 森有礼の指示により滞米二八年。帰国後、田中正造をはじめ明治の知識人に深い感化をあたえたキリスト教神秘主義者の全貌。各巻に解題と豪華執筆陣による月報を付す。［A5判／全十巻／各巻六八二五円］

知られざるいのちの思想家 ―新井奥邃を読みとく
新井奥邃先生記念会監修 奥邃の教育観、儒教観、父母神思想、芸術家への感化、スウェーデンボルグとの比較等を詳解。［A5判／二〇〇〇円］ ISBN 4-921146-02-0

絶対無と神 ―京都学派の哲学
小野寺功（清泉女子大学名誉教授）西田哲学とキリスト教の接続を試みる。「真剣に生きようとする人にとって必須の書。単なる流行思想でなく、最高最深の問題である」（鈴木亨）［A5判／四八三〇円］ ISBN 4-921146-47-0

大地の文学
小野寺功（清泉女子大学名誉教授）賢治・幾多郎・大拙の思想を媒介に賢治を読み解く、「東北の哲学」の試み。［四六判／二九四〇円］ ISBN 4-86110-019-4

聖霊の神学
小野寺功（清泉女子大学名誉教授）西田哲学を媒介にして、キリスト教・三位一体論を聖霊の神学と捉えなおし、現代に復興する野心的大著！［A5判／函入／七九八〇円］ ISBN 4-921146-81-0

スウェーデンボルグを読み解く
日本スウェーデンボルグ協会（JSA）**編** 鈴木大拙、森有礼、新井奥邃、田中正造、リンネ、ブラームス、リンカーン、カーネギーなどと交差させ、信仰の有無や宗教・宗派を超えたスウェーデンボルグの普遍性を示す。［四六判／二九四〇円］ ISBN 978-4-86110-130-4

明治のスウェーデンボルグ ―奥邃・有礼・正造をつなぐもの
瀬上正仁（思想史家／整形外科医）日本人の心と神秘主義思想との知られざる接点。［四六判／三〇〇〇円］ ISBN 4-921146-28-4

風についての省察 ―絶対無の息づかいをもとめて
松山康國（関西学院大学名誉教授）京都学派とエックハルトの思想を武器に神秘主義の妙味へと迫る。［A5判／三五〇〇円］ ISBN 4-921146-85-3

信仰の美學
阿部仲麻呂（サレジオ会司祭）「若き神学者の瞑想から生まれた珠玉の文章」渡部昇一［A5判／九九七五円］ ISBN 4-86110-028-3

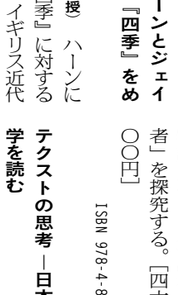
思想のレクイエム ―加賀・能登が生んだ哲学者15人の軌跡
浅見洋（石川県立看護大学教授）西田幾多郎、鈴木大拙、逢坂元吉郎、高橋ふみほか加賀・能登にゆかりの深い思想家の人生と哲学。失われつつある「哲学」へのオマージュ！［四六判／三六七五円］ ISBN 4-86110-068-2

西田幾多郎 ―生命と宗教に深まりゆく思索
浅見洋（石川県立看護大学教授）日常に宿された具体的諸問題を起点とし、そこを徹底的に考え抜くことによりその根源に迫る。［A5判／三五〇〇円］ ISBN 978-4-86110-185-4

二人称の死 ―西田・大拙・西谷の思想をめぐって
浅見洋（石川県立看護大学教授）「偉大な先達の〈悲しみの仕事〉が説かれている」（日野原重明・序文より）悲哀から哲学をとらえ返す。［四六判／二九四〇円］ ISBN 4-921146-75-6

対話論神学の地平 ―私の巡礼のなかから
延原時行（敬和学園大学教授）宗教間対話はいかに行われるべきか？西田幾多郎とホワイトヘッドの間に神学の原理を探る。［A5判／四五〇〇円］ ISBN 4-86110-081-X

聖書における愛 ―イエスの愛とパウロの愛
高見伊三男（牧師）まことの、確かな、模範的な、永遠なる愛は存在するか？　イエスとパウロの言動を参照しながら、さまざまな愛の土台・根本となりうる「アガペー」としての愛をわかりやすく丁寧に語る。［四六判／二三一〇円］ ISBN 978-4-86110-287-5



源信とパウロ ―『往生要集』と『書簡』における神秘主義の比較
高見伊三男（牧師）仏教とキリスト教における巨人を神秘主義の観点から比較。対話と前進の新たな可能性。［A5判／三三六〇円］ ISBN 978-4-86110-123-6

朝鮮神話の源流 ―「バリ公主神話」と「ダンクン神話」を巡って
金香淑（目白大学専任講師）実証的な分析により通説をくつがえし、神話の世界観と仏教の影響関係を明らかにする力作。［A5判／四七二五円］ ISBN 978-4-86110-313-1

ラフカディオ・ハーンとジェイムズ・トムソン ―『四季』をめぐって
先川暢郎（拓殖大学教授）ハーンによるトムソンの『四季』に対する評価を考察しつつ、イギリス近代自然詩の源流としてのトムソンを再評価し、両者に共通するケルト性をあきらかにする。［四六判／三五〇〇円］ ISBN 978-4-86110-285-1

作品は「作者」を語る ―アラビアン・ナイトから丸谷才一まで

文芸評論

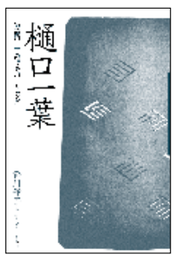
茶の本
岡倉天心著／**ソーントン不破直子**（日本女子大学名誉教授）**訳** 明治の美のプロデューサー岡倉天心が日本文化の粋を説いた茶の湯論がこれまでにない親しみやすい訳でよみがえる。［四六判／一三六五円］ ISBN 978-4-86110-191-5

ソーントン不破直子（日本女子大学名誉教授）・**内山加奈枝**（日本女子大学准教授）**編著** ロラン・バルト以後の「作者」とは何か？　時空を越えた幽霊としての作者を示した丸谷才一『輝く日の宮』、ヘミングウェイの身体性が抜きがたく刻み込まれた『ニック・アダムズ物語』など、八つの視点から「作者」を探究する。［四六判／三〇〇〇円］ ISBN 978-4-86110-292-9

テクストの思考 ―日本近現代文学を読む
林浩平（詩人・恵泉女学園大学特任准教授）小説は、詩は、どこへ行くのか。王道の日本文学から、萩原朔太郎・瀧口修造の詩作品、穂村弘やJ文学まで、縦横に「読む」。［A5判／三三〇〇円］ ISBN 978-4-86110-253-0

龍の星霜 ―異端の劇作家 青江舜二郎
大嶋拓（映画作家）二〇世紀という激しい時代のうねりの中で、運命に翻弄されながらも力強く生きたひとりの劇作家の生涯を、長男である映画作家がドラマチックに描く。［四六判／一五七五円］ ISBN 978-4-86110-274-5

法隆寺
青江舜二郎（劇作家）修羅として生きた太子の人間像を浮き彫りにする幻の戯曲。岸田演劇賞受賞の傑作戯曲、初の単行本化。「河口」を併録。［四六判／二九四〇円］ ISBN 978-4-86110-225-7



樋口一葉 ―物語論・言語行為論・ジェンダー
笹川洋子（神戸親和女子大学教授）物語論・言語行為論の視点を用いつつ、女性への差別が日常的であった明治時代にあっておどろくほど現代的なジェンダー意識をそなえていた一葉文学の謎にせまる。［四六判／四二〇〇円］ ISBN 978-4-86110-348-3

明治大正露文化受容史 ―二葉亭四迷・相馬黒光を中心に
小林実（十文字学園女子大学短期大学部准教授）反発しながらも憧れたロシア文化を、日本人はいかに受け入れ、血肉化したか。二葉亭、黒光を中心に日本文化の来歴に迫る。［A5判／六八〇〇円］ ISBN 978-4-86110-219-6

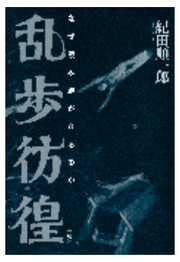
明治大正期文芸の起源
大石直記（明治大学教授）「近代」を問い続けた思想家として鷗外・漱石を読む。［A5判／五八八〇円］ ISBN 978-4-86110-175-5

長塚節『土』―鈴木大拙から読む
安田速正（農業従事者）漱石も絶賛した近代日本文学の異端児、長塚節の宗教性に迫る！　土にまみれて生きた『土』の作者は、どうして歌集『鍼の如く』をものしたのか。［四六判／二三一〇円］ ISBN 978-4-86110-252-3

鷗外・漱石 ―ラディカリズムの起源
大石直記（明治大学教授）「近代」を問い続けた思想家として鷗外・漱石を読む。［A5判／五八八〇円］ ISBN 978-4-86110-175-5

永井荷風 ゾライズムの射程 ―初期作品をめぐって
林信蔵（京都大学非常勤講師）ゾラの技法を荷風はいかに摂取し、実践したか。精緻な読解と多角的な検証による比較文学的論考。［A5判／三八〇〇円］ ISBN 978-4-86110-222-6

紀田順一郎（評論家・作家）「芸術的潔癖さゆえの、巨匠乱歩の創作上の激しい苦悩と矛盾に満ちた作風の変転を見事に跡づけた優れた評論」（評論家・権田萬治）これまでの乱歩像をくつがえし、「人間乱歩」に迫る！［四六判／二〇〇〇円］ ISBN 978-4-86110-284-4



乱歩彷徨 ―なぜ読み継がれるのか

なぜ男は笙野頼子を畏れるのか
海老原暁子（元立教女学院短期大学教授）『水晶内制度』は古事記の過激な翻案であり、『母の発達』は母に負わされた過剰なイメージを破壊する。男によってつくりあげられた言語、宗教、性別観をくつがえす孤高の作家の叫びをとらえる。［四六判／二五〇〇円］ ISBN 978-4-86110-318-6

乱読すれど乱心せず ―ヤスケンがえらぶ名作50選
安原顯（スーパーエディター）名編集者が、人を狂わせるパワーを秘めた傑作を求め大作家たちの旧著を再読。［四六判／一八九〇円］ ISBN 4-921146-67-5

名刀中条スパパパパン!!
中条省平（学習院大学教授）表現の最前戦を仏文学者・チュージョー先生がブッタ斬る！［四六判／二九四〇円］ ISBN 4-921146-90-X

荒野へ　鮎川信夫と「新領土」―
中井晨（同志社大学名誉教授）戦前モダニズム詩の拠点『新領土』の全バックナンバーと同人たちの書簡、日記を精査。II巻二〇一三年刊行予定。［A5判／九八〇〇円］ ISBN 978-4-86110-096-3

ぼくの交遊録
岡井隆（歌人）寺山修司や吉本隆明をはじめ、五十数名に及ぶ作家、詩人、歌人、俳人との邂逅と交遊が伝える戦後から現代への息吹!!［四六判／二九四〇円］ ISBN 4-86110-044-5

インタビュー現代短歌 ―うた・ひと往来
及川隆彦（「短歌往来」編集長）「短歌往来」編集長による「編集長インタビュー」。歌人、詩人、評論家六二名の言葉が一冊に！［四六判／二九四〇円］ ISBN 4-86110-066-6

桃源郷とユートピア ―陶淵明の文学
伊藤直哉（桜美林大学教授）人間の歴史の愚かさを知り抜く田園詩人、隠逸詩人の汲めども尽きぬ味わいを堪能。［四六判／二八〇〇円］ ISBN 978-4-86110-218-9

新版 文学にひそむ十字架
小出龍太郎（大阪芸術大学短期大学部教授）プレヴォ、ユゴー、モーパッサンなど古今の名作を味読。ユング心理学を援用し作品の深層構造に迫る。二〇〇〇年刊の改訂新版。［四六判／二九四〇円］ ISBN 978-4-86110-354-4

小出楢重と谷崎潤一郎 ―小説「蓼喰ふ虫」の真相
小出龍太郎・**明里千章**・**荒川朋子** 名作に秘められた小出家にまつわる謎を追う！［四六判／二六二五円］ ISBN 4-86110-084-4

小出楢重 ―光の憂鬱
小出龍太郎（大阪芸術大学短期大学部教授）夭折の洋画家の実像を孫が語り明かす。［四六判／二三一〇円］ ISBN 4-921146-34-9

平家物語・装置としての古典
高木信（相模女子大学准教授）批評理論を援用した性・死・共同体をめぐる物語解釈。ナショナリズムと古典の関係とは。［四六判／四八三〇円］ ISBN 978-4-86110-139-7

古代歌謡と南島歌謡 ―歌の源泉を求めて
谷川健一（民俗学者）南島文化に今なおいきづくアニミズムの息吹。万葉から芭蕉までを通覧し、日本人の魂の秘密にせまる。［四六判／二五二〇円］ ISBN 4-86110-058-5

ちょっと、教養 ―20代女性のための芸術案内
小出龍太郎（大阪芸術大学短期大学部教授）バッハからゴッホ、ブラマンクまで。音楽・映画・絵画・文学の傑作を紹介。［四六判／一六八〇円］ ISBN 4-86110-008-9

見えないものを見る力 ―ケルトの妖精の贈り物
風呂本武敏（愛知学院大学教授）この世の中のほんとうの姿とは何か？　妖精の国アイルランドの文化・歴史・文学を語る。［四六判／二三〇〇円］ ISBN 978-4-86110-094-9

Beowulf
橋本修一（千葉工業大学准教授）アングロサクソン文学を代表する叙事詩を「魔女」「怪物」「龍」などのテーマで読みとく（英文）。［変型判／二一〇〇円］ ISBN 4-86110-060-7

原典対照『ベーオウルフ』読解
長谷川寛（元日本大学教授）原詩三一八二行のすべてに詳細な語釈を加え、二種類の日本語訳（擬古文訳と現代文訳）を併記。原文を参照しながら味読できる画期的『ベーオウルフ』。［A5判／九四五〇円］ ISBN 978-4-86110-230-1

ルーン文字の探究
ラルフ・W・V・エリオット著／**吉見昭徳**（明治学院大学名誉教授）**訳** ルーン文字碑文と古英語時代のアングロ・サクソン文学との関連を探る。［A5変型判／四五〇〇円］ ISBN 978-4-86110-183-0

古英語詩を読む ―ルーン詩からベーオウルフへ
吉見昭徳（明治学院大学名誉教授）「ルーン詩」「マルドンの戦い」など、貴重な原典を併載し試訳。詳細な注釈・論考を加える。［A5変型判／四二〇〇円］ ISBN 978-4-86110-135-9

『ベーオウルフ』とその周辺 ―忍足欣四郎先生追悼論文集
唐澤一友（駒澤大学教授）**編** 『ベーオウルフ』研究の泰斗の学恩に感謝し、三六名が寄稿。未発表のものを含む忍足先生の論文五編を巻頭に収める。［A5判／八四〇〇円］ ISBN 978-4-86110-190-8

ミルワード氏の英文学散歩 ―ルネッサンスから現代へ
ピーター・ミルワード編著／**橋本修一**（千葉工業大学教授）**訳** シェイクスピアからギッシングまで、英文学の達人が厳選した四五作品を紹介し、作品の時代背景や思想を解説。［四六判／一八九〇円］ ISBN 978-4-86110-167-0

イギリス　イメージ横断 ―表象と文学
要田圭治（広島大学教授）・**田原光広**（広島大学准教授）・**吉本和弘**（県立広島大学准教授）**編** マンビー、オーウェル、ブレイクなど、十八世紀から二十世紀までの多彩なイギリス文化・文学を取り上げ、その諸相に分け入る。［四六判／三五〇〇円］ ISBN 978-4-86110-278-3

ヘンリー・フィールディング伝
澤田孝史（東京国際大学教授）当代一の人気作家は借金まみれの浪費家であり勤勉な法律家でもあった。その奔放な生涯と、虚栄と偽善に満ちた当時の社会背景を克明にえがきだす。［A5判／四五〇〇円］ ISBN 978-4-86110-231-8

ディケンズ、フォースター、オースティン ―いまに生きるイギリス小説
藤田永祐（獨協大学教授）いまなお読まれつづける名作をドストエフスキーや漱石にも論及しながら、味読する。［四六判／二三一〇円］ ISBN 978-4-86110-154-0

英詩に魅せられ ―エリオットからラーキンまで
堀田三郎・**犬飼誠 共編** 予備知識は要らない、まずはとにかく味わおう。二〇世紀前半の英米六詩人の代表作を二編ずつとりあげ、原詩に訳文を併載。「詩を読む会」のメンバーが、解釈をめぐるディスカッションを通して、〈しろうと目線〉で詩を愉しむ。［四六判／二六〇〇円］ ISBN 978-4-86110-305-6

チップス先生の贈り物 ―英文学ゆかりの地を訪ねて
長井那智子（エッセイスト）作家の生家や作品を執筆したパブ、物語の舞台などをめぐる。［四六判／一五七五円］ ISBN 978-4-86110-115-1

ピースの丘から ―友、旅、暮らしの歳時記
山口弘恵（武蔵野大学名誉教授）英文学者が過ぎし日を思いながら綴る。［四六判／一八九〇円］ ISBN 978-4-86110-186-1

女たちの英米文学・シアター ―タカラヅカから映画まで
山口弘恵（武蔵野大学名誉教授）舞台や映画にあらわれた〈男と女〉の文学論。［A5判／一八九〇円］ ISBN 4-86110-003-8

オーウェル文学の源流を求めて ―その想像的創造力の源泉
高橋鍾（宮崎大学教授）「反共作家」等政治的レッテルを貼られがちなオーウェル作品に内在する「読み」の可能性を読み解く。［四六判／二九四〇円］ ISBN 978-4-86110-170-

カズオ・イシグロ ―〈日本〉と〈イギリス〉の間から
荘中孝之（京都外国語短期大学准教授）イシグロ文学にひそむ「日本的なるもの」とは何か。川端や谷崎を参照しつつ、日英における受容の違い、母性憧憬などをテーマとして長編六作品を読み解く。［四六判／三一五〇円］ ISBN 978-4-86110-255-4

Decoding Paul Muldoon : Poetics and Politics
奥田良二（東海大学教授）ヒーニーに続く北アイルランドの現代詩人、ポール・マルドゥーン。〈hybridity〉概念を鍵に、その横溢することばの深層に隠された政治性を読み解く（英文）。［四六判／二六二五円］ ISBN 978-4-86110-176-2

虫曼荼羅 ―古典に見る日本人の心象
岩下均（目白大学教授）『万葉集』『源氏物語』を中心に古典文学に登場する虫の分析から、日本人の心象に迫る！［四六判／二九四〇円］ ISBN 4-86110-004-6

マリー・ダグー ―19世紀フランス伯爵夫人の孤独と熱情
坂本千代（神戸大学教授）『一八四八年 革命史』、リストとの熱愛で歴史に名を残す女性の生涯。［四六判／二三一〇円］ ISBN 4-86110-042-9

失われたパリを求めて ―マルセル・プルーストが生きた街
アンリ・ラクシモヴ著／**吉川佳英子**（京都造形芸術大学准教授）・**岩野卓司**（明治大学教授）**訳** 『失われた時を求めて』の醍醐味を、パリの魅力と絡めながら紹介。近代パリの文化や風俗と現代の空気を融合させ、人を惹きつけてやまないパリの魔力を解き明かす。［四六判／二一〇〇円］ ISBN 978-4-86110-236-3

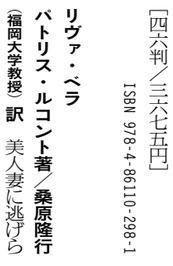
神の箱 ―ダビデとその時代
磯部隆（名古屋大学名誉教授）「サムエル記」の記述に基づき、古代イスラエルの王とその時代を活写する一大歴史小説。［四六判／三九九〇円］ ISBN 4-86110-036-4

こんにちはチェホフ！ ―三つの短編を訪ねる
村手義治（元創価大学教授）**編訳** 「犬を連れた奥さん」他二作を解説をまじえながら読みすすむ、新しいスタイルの作品論＆翻訳。［四六判／二一〇〇円］ ISBN 978-4-86110-279-0

民話の森の歩きかた
樋口淳（専修大学教授）シンデレラは日本にもいる？　赤ずきんはドイツ人、それともフランス人？　青ひげはジャンヌ・ダルクの心の友？　世界中で語りつがれる五つの物語を読み解く。［四六判／二五〇〇円］ ISBN 978-4-86110-273-8

文学

ことばのポトラック
大竹昭子（作家）**編** 3・11以後、詩人、作家、写真家が東京のライブハウスに集まり発表した新作詩・エッセイ・小説・写真のアンソロジー。谷川俊太郎、角田光代、佐々木幹郎、畠山直哉、古川日出男、堀江敏幸、ル・クレジオほか豪華な執筆陣！［A5変型判／一八九〇円］ ISBN 978-4-86110-310-0



クリス・ボルディック選 ゴシック短編小説集
石塚則子（同志社大学教授）**他編訳** レ・ファニュやカーターなど、一八世紀から二〇世紀までの三三編を訳出。ゴシック小説の系譜を一望できる最良のアンソロジー！［四六判／三六七五円］ ISBN 978-4-86110-298-1

リヴァ・ベラ
パトリス・ルコント著／**桑原隆行**（福岡大学教授）**訳** 美人妻に逃げられ、ショーは大失敗。どん底のマジシャンは、催眠術ショーで起死回生を狙う…。ちょっぴりエッチで滑稽、「髪結いの亭主」の名監督による誘惑に満ちた小説。［四六判／二〇〇〇円］ ISBN 978-4-86110-280-6

ショートカットの女たち
パトリス・ルコント著／**桑原隆行**（福岡大学教授）**訳** ぼくはトマ、いい奴。今から三年以内に花嫁を探す。条件は、ショートカットであること…。名監督が放つ、おかしな婚活小説！［四六判／二一〇〇円］ ISBN 978-4-86110-277-6

愛の叙事詩 パルダイヤン物語
ミシェル・ゼヴァコ著／**鈴木悌男**（神戸松陰女子学院大学名誉教授）**訳** サルトルが愛してやまなかった冒険活劇！　迫真の筆致で「聖バテルミーの虐殺」の真相に迫る。［四六判／二九四〇円］ ISBN 978-4-86110-223-3

パリの小鳥売り
ロベール・ブラジャック著／高井道夫（上智大学教授）**訳**　舞台は一九三〇年代のパリ、小鳥売りの老人を交点に、人々は出会い、そして別れる。切ない余韻を残す幻の傑作。［四六判／二三一〇円］
ISBN 978-4-86110-250-9

モーツァルトの息子
ジャック・トゥルニェ著／高井道夫（上智大学教授）**訳**　巨大な父の影から逃げ続けた息子は、人妻ヨーゼファと恋におち、自分をとりもどしはじめる。〈人間〉モーツァルト父子をあざやかに描きだす小説。［四六判／二三一〇円］
ISBN 978-4-86110-242-4

白い黒人
ネラ・ラーセン著／植野達郎訳　肌の白い二人の黒人女性。二人は出会い、惹かれあう。黒人女性文学の先駆、待望の邦訳！（品切）［四六判／二〇〇〇円］
ISBN 4-86110-093-3

南海物語
ジャック・ロンドン著／深沢広助訳　南の海を舞台にくり広げられる冒険と残酷と滑稽の物語集！［四六判／二七三〇円］
ISBN 4-86110-070-4

空にあがったハイエナ―ケニア・キクユの民話集
杜由木　キクユ族が語り継いできた大切な物語をユーモラスなイラストとともにおくる。［四六判／一六八〇円］
ISBN 978-4-86110-301-8

カレワラ物語―フィンランドの国民叙事詩
キルスティ・マキネン著／荒牧和子訳　氷の国フィンランドの国生み神話をやさしい物語に。［四六判／一八九〇円］
ISBN 4-86110-034-8

魔術師のたいこ
レーナ・ラウラヤイネン著／荒牧和子訳　ツォラオアイビのたいこが百年に一度紡ぎ出す、不思議な物語。フィンランド民話を題材にしたファンタジー。［四六判／一五七五円］
ISBN 4-86110-075-5

アイリッシュ・ハープの調べ―ケルトの神話集
マリー・ヒーニー著／大野光子監修／河合利江・河口和子訳　囚われの姫、邪悪な巨眼の魔王、知恵の鮭、神々の壮大な闘争。［四六判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-124-3

スウェーデン民話名作集Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
薮下紘一（元駒澤大学教授）**訳**　北欧の人と神、魔女、動物が織りなす不思議な物語。［四六判／各巻二〇〇〇円］
ISBN 978-4-86110-246-2
ISBN 978-4-86110-288-2
ISBN 978-4-86110-339-1

ヨコハマ　ヨコスカ　幕末　パリ
飯島耕一（詩人）　生と死、日常と狂気、時空の淵を彷徨う男がいる。単行本未収録作品を含む、「戦後詩の最終ランナー」による傑作集！［四六判／二九四〇円］
ISBN 4-86110-040-2

わしといたずらキルティーン
マリー女王著／長井那智子（エッセイスト）**訳**　キルティーンはおてんばが過ぎて、国のはずれの高い塔に閉じ込められてしまいました。そこで姫を厳しくしつけるのは、怖くて大きなわしの群れ。名作「わし姫物語」が新訳でよみがえります。［A5判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-153-3

マハーヴァギナまたは巫山の夢
三浦衛（春風社代表）　三平佐世夫は、千一夜の夢ううつつで女と戯れ、印度に旅し、擧丸を抜かれ、鰐を飼い、横浜を彷徨う。言語の崖っぷちを綱渡りする、めくるめく冒険。解説・中条省平氏。［変型判・函入／二〇五五円］
ISBN 978-4-86110-342-1

父のふるさと―秋田往来
三浦衛（春風社代表）　父の目をとおしてたちあがってくる、故郷の風景、ひと、くらし。本文は活版印刷、「身と蓋函」入りの豪華装丁による愛蔵版。序詩・佐々木幹郎氏、寄稿文・田中優子氏。［B6判・函入／二〇〇〇円］
ISBN 978-4-86110-243-1

出版は風まかせ―おとぼけ社長奮闘記
三浦衛（春風社代表）　横浜の出版社「春風社」社長が本づくりと会社経営にまつわるエピソードを豊富におりまぜ、創業から十年を振り返る。［四六判／一三六五円］
ISBN 978-4-86110-193-9

みらいのゆくすえ
しりあがり寿（漫画家）　みらいはみえない、だから怖い。だから楽しい。3・11後の日本と世界のこれからをゆるーく予想する、洞察に満ちた絵文集。［四六判／一六八〇円］
ISBN 978-4-86110-294-3

横浜の時を旅する―ホテル ニューグランドの魔法
山崎洋子（作家）　横浜を愛するミステリー作家が、その魅力と楽しみ方を教えます。優雅でちょっと知的な横浜ぶらり旅へのいざない。［四六判／一六八〇円］
ISBN 978-4-86110-296-7

フォーの国のことば―ベトナムを学び、ベトナムに学ぶ
冨田健次（元大阪大学教授）　ベトナム語教育のトップランナーによるエッセイ集。［四六判／二〇〇〇円］
ISBN 978-4-86110-352-0

日々の風

暮らしのなかの哲学

長谷川宏

7　富士の眺め

必要あって葛飾北斎の「冨嶽三十六景」を一枚一枚丁寧に見る時間をもった。

北斎七十代の円熟期に描かれ、見る者を驚かせ、また楽しませようとする仕掛けや配慮がどの一枚にもなされているから、奇の衒いすぎと思える作品をもふくめて、胸をときめかせながら絵に対峙することができた。江戸で浮世絵版画として売りに出された当時も大変な人気で、当初は「三十六景」で終わるつもりが「四十六景」までふやすことになったという。

見終わって、こういう疑問が沸いた。

江戸の大衆が富士の連作に夢中になったのは、普段見なれた富士が縦26センチ、横38センチの画面に思いがけぬすがたを取って登場するからだ。絵の構図の斬新さを楽しむにはいつも富士が見えているという日頃の経験が土台とならねばならなかったはずだ。その経験の内実はどういうものだったのか、と。

事が時代を隔てた日常の生活感覚にかかわる話だから、疑問を解くのがむずかしい。いまの東京からもたまさか富士の見えることがなくはない。わたし個人の経験でいえば、冬の晴れた日に西武池袋線の車窓から遠く富士の見えることがある。ちょっと得をした気になって、隣に友人がいれば、「ほら、富士山が」と注意を促したりもする。

が、得をした気になったり他人に教えたりする富士は、暮らしのなかでいつも見えていた江戸の富士ではない。暮らしのなかの富士は、もっときりげなく、もっと親しく、それでいて、あちこちに富士見が丘、富士見台といった地名があることからすると、大きく美しく見えることが住民の誇りでもあったような、そんな富士だったと思われるが、そんな日々のつきあいのなかで江戸人が見ていた富士のすがたをわたしたちが日常感覚として思い浮かべるのは、ことの外むずかしいのだ。

暮らしのなかから富士が消えていったのは、大きくいえば明治以降の近代化という社会条件によるもの、具体的には、洋風の高層建築の増加が視野を遮り、遠望を妨げたことによるもの、といえるだろう。そこはよく理解できる。が、暮らしから富士が消えることによって人びとの生活感覚にどのような変化が生じたのか。人びとの美意識はどのように変わったのか。暮らしのなかの富士のイメージが実感的に近づきにくいものである以上、富士の消失のもたらす生活感覚や美意識の変化を実感としてとらえることはむずかしい。

が、時代を超えて過去の社会を、社会のなかの生活や人間を、さらには芸術や思想を、理解するには、生活感覚や美意識にまで触手を伸ばすのは必要不可欠な作業だ。そこに思いがとどかなければ、過去が人びとの暮らした時代として生き生きと立ち上がってこない。北斎にもどっていえば、「冨嶽三十六景」の連作のなかから絵師北斎の観察眼や技量や構想力や美的感受性のありようは立ち上がってくる。ならば、連作を楽しんだ江戸の大衆の富士をめぐる日常感覚や美意識も、間接的にせよ、そこから立ち上がってきてほしいし、立ち上がらせたい。

が、そうはいかず、わたしはもどかしさを払えない。もどかしさをかかえて何度も絵に還っていく。と、もどかしさゆえに北斎の絵の魅力が増すように思える。そこが芸術のふしぎなところだ。もどかしさにこだわるのも富士が名山だからかもしれない、と、わたしはそんな呑気なことを考え始めるようになってもいる。

（哲学者）

好評既刊
長谷川宏「ちいさな哲学」

写真◎音楽◎芸術

かぼちゃの下で―ウガンダ　戦争を生きる子どもたち
桜木奈央子（写真家）**写真・文／伊藤氏貴**（明治大学専任講師）**解説**　「国民同士、民族同士の同士討ち」により数十万人の死者を出したウガンダ。悲惨な過去を抱えながら、日常をたくましく元気に生きる子どもたちの姿を映し出すフォトエッセイ。［四六判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-259-2

クジラ解体
小関与四郎　和田浦・九十九里浜（千葉）、太地（和歌山）、鮎川（宮城）で二十四年にわたって撮影。クジラと共に生きる人々と暮らしを映す。モノクロ写真一二一点。［A4判／一五七五〇円］
ISBN 978-4-86110-261-5

九十九里浜
小関与四郎　九十九里で生まれ育った著者が半世紀にわたり撮りつづけた写真二〇八点。昭和三〇～四〇年代を中心に、日本の原風景が甦る。［A4判／一五七五〇円］
ISBN 4-86110-012-7

北上川
橋本照嵩　石巻出身のカメラマンが故郷の原風景と人々の暮らしを深い愛情と洞察力をもち半世紀かけて写しとった。［B5変型判／三五〇〇円］
ISBN 4-86110-055-0

アンヘリカの選択
丸岡永乃（画家・詩人）　家族も大事、仕事も大事。でもあなたが一番になるときは？　仕立て職人アンヘリカが夢をかなえる物語をゆたかな色彩で描き出した大判絵本。［B4判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-337-7

君にシロツメクサの冠を
丸岡永乃（画家・詩人）　「私の宇宙はふうわり舞い上がり咲き乱れる」こころを吹き抜ける日々の想いをつづる詩画集。［B6変型判／一二六〇円］
ISBN 978-4-86110-336-0

OTHER VOICES　東大全共闘・68―70
平沢豊（編集者）　当時東大生だった著者がつぶさに目撃した東大全共闘。［変型判／二九四〇円］
ISBN 4-86110-026-7

ガリヴァー旅行記　蔵書票集
松菱多津男（会社会長）**編**　紙の宝石ともいわれる蔵書票二〇枚を美麗帙函に収める豪華愛蔵版！［B5判帙函入り／二五〇〇円（直販のみ）］

邦訳「ガリヴァー旅行記」書誌目録
松菱多津男（会社会長）　明治一三年刊行の初邦訳本から平成二二年刊行物まで、書籍、漫画、紙芝居、LPレコード、カセットテープ、ビデオテープ、DVDなど五〇〇点以上を網羅。［B5判／四八三〇円］
ISBN 978-4-86110-276-9

ただしいジャズ入門
中条省平（学習院大学教授）　二〇〇枚以上のディスクレビューから見えてくるジャズ百年史。［四六判／一六八〇円］
ISBN 4-86110-057-7

たのしいジャズ入門
寺島靖国（ジャズ喫茶「メグ」店主）　ピアノトリオからラテン、マニア垂涎の逸品まで、一生モノのディスクを紹介。［四六判／一六八〇円］
ISBN 4-86110-056-9

ハラに染みるぜ！天才ジャズ本
安原顯（スーパーエディター）　名作は大絶賛、駄作はぶっ叩く！［四六判／二九四〇円］
ISBN 4-921146-62-4

ドイツ・ロックの世界
若山俊介（宇都宮大学教授）　ロックマニア必読。歌詞を通してドイツの歴史と社会もよくわかる。［四六判／一八九〇円］
ISBN 4-86110-074-7

アフリカン・ポップスの誘惑
多摩アフリカセンター編　アフリカ各国のヒット曲を紹介、歌詞を味読する。［A5判／一六八〇円］
ISBN 978-4-86110-108-3

深読み映画論―『暗い日曜日』の記憶
大野真（大妻女子大学教授）　映画の醍醐味、それはディテールを味わい尽くすことにある。五つの作品をこれまでにない視角から読み解く濃密な作品論！［四六判／二〇〇〇円］
ISBN 978-4-86110-198-4

ドアの映画史―細部からの見方、技法のリテラシー
吉田眸（京都産業大学教授）　さりげない細部の演出や技法に、映画を読み解く鍵がある。ストーリー中心主義を超え、映画の魔法に迫る。［四六判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-264-6

インド・まるごと多聞典
矢萩多聞（画家・装丁家）　注目の画家・装丁家、初の対談集。谷川俊太郎氏推薦！［A5判／二五〇〇円］
ISBN 4-921146-24-1

詩歌◎俳句

邂逅
岩田澄江　劇的な「邂逅」を果たしたキリスト教信仰を支えに語りだされる、一女性の日々のよろこび、悲しみ、希望。［変型判／一〇〇〇円］
ISBN 978-4-86110-324-7

風景は光に揺れて
土屋千鶴（専門学校講師）　新たな世界を言葉によって構築しようとする意欲作品群。［四六判／一五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-293-6

詩集　貘のマラソン
いとうのぼる　生のときが澄み、したたる言葉が詩となる。ゆたかなときへ誘う詩群。［四六判／一三六五円］
ISBN 978-4-86110-270-7

谷川健一全歌集
谷川健一（民俗学者・歌人）　既刊の三歌集に加え、未発表作を多数収録。独自の歌風で詠われる〝見えざるもの〟への祈り。民俗学者・歌人の歌業を集成。［A5変型判／三九九〇円］
ISBN 978-4-86110-104-5

山桜花
廣利千恵子　「満ち溢るる桜の光をむさぼりぬ再びの春切に願いて」。障害児教育に身を挺した著者の遺作。［四六判／一五〇〇円］
ISBN 4-86110-077-1

立教大学人文叢書

石碑、直筆原稿、楽譜、絵画、写真、書簡など、あらゆる媒体をテクストとしながら、さまざまな時代や地域における人間精神の多彩な働きを考究する横断的人文学の試み。全五巻！［四六判］

5 書簡を読む　桑瀬章二郎編［二三〇〇円］
ISBN 978-4-86110-194-6

4 人文資料学の現在Ⅱ　菅谷憲興編［二三一〇円］
ISBN 978-4-86110-163-2

3 肖像と個性
藤巻明・浦野聡・小嶋菜温子編著［二三一〇円］
ISBN 978-4-86110-138-0

2 文学の基礎レッスン　後藤和彦編著［二三一〇円］
ISBN 4-86110-087-9

1 人文資料学の現在Ⅰ　浦野聡・深津行徳編著［二三一〇円］
ISBN 4-86110-063-1

◎関連書籍

古代文字史料の中心性と周縁性
立教大学東アジア地域環境問題研究所／深津行徳・浦野聡編著　地方の遺存記録史料が中央の歴史を逆照射する。英韓日の研究者一二名による論集。［A5判／三六七五円］
ISBN 4-86110-067-4

観光

瀬戸内、鳥瞰の旅―風景の奥を読む
伊藤松雄（四国学院大学教授）　船乗りたちが広めたこんぴら詣で、平家が惨敗した二つのダンノウラ…。風光明媚な土地を歩き、秘められた歴史をひもときながら風景をあじわいなおす。［四六判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-360-5

日本初の海外観光旅行―九六日間世界一周
小林健（明海大学教授）　いきづまりをみせる観光ビジネスへのヒントがここにある！［A5判／三三六〇円］
ISBN 978-4-86110-178-6

観光地の賞味期限―「暮らしと観光」の文化論
古池嘉和（富山大学教授）　内発的・持続的な観光地づくりへの提言！［四六判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-120-5

にぎわい文化と地域ビジネス
相原憲一（静岡大学教授）**編**　町おこしビジネスの先進的事例を分析。［A5判／一八九〇円］
ISBN 4-86110-021-6

ガイドブック的！　観光社会学の歩き方
遠藤英樹（奈良県立大学教授）　社会学の知見を援用して一〇の観光地をツアー。［四六判／二二〇〇円］
ISBN 978-4-86110-126-7

旅ともてなしの文化論
京都府立大学 旅ともてなしの比較文化研究会編　古今東西の事例を通して、今日の観光業を見つめる。［四六判／二三一〇円］
ISBN 978-4-86110-146-5

イギリスの田舎を歩く
ピーター・ミルワード著／橋本修一（千葉工業大学准教授）**訳**　大聖堂をじっくり見学し、夜はおいしいパブ料理に舌鼓を打つ。とっておきのイギリスを案内。［四六変型判／一五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-311-7

突撃！よこはま村の100人―自転車記者が行く
佐藤将人（神奈川新聞記者）　笑いと涙と感動を胸に奮闘する横浜の面々をユーモアたっぷりに紹介。［四六判／一五七五円］
ISBN 978-4-86110-316-2

山ふたり―中央・南アルプスほか編
三輪敏広・和恵　夫婦息を合わせて登り、ひとと、花と、そして雄大な自然と出会い、別れる。［A5判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-308-7

おばさんベトナム留学記
中嶋弘子　〝おばさん〟がベトナムで見たものは？［四六判／一五七五円］
ISBN 978-4-86110-297-4

おばさん！辺境を行く
外川洋子　六五歳を過ぎて海外旅行の魅力にとりつかれ各国を旅行。［四六判／一五七五円］
ISBN 978-4-86110-100-7

おばあちゃん！世界遺産を行く
外川洋子　おばあちゃんの世界旅行はつづく。［四六判／一五七五円］
ISBN 978-4-86110-249-3

健康

気功瞑想でホッとする
朱剛（禅密気功師）　日々の暮らしに瞑想を取り入れたいと思っている人、ながく瞑想を続けたいと考えている人に最適。［四六判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-189-2

背骨ゆらゆら健康法―自分でできるお手軽気功術
朱剛（禅密気功師）　ストレス社会をはつらつと元気に生きるために気功体操を始めませんか。コツは背骨を揺らすこと！［A5判／一二六〇円］
ISBN 978-4-86110-127-4

総記◎辞典 事典

現代日本語モンゴル語辞典
橋本勝（大阪大学教授）／**E・ブレブジャブ**（モンゴル国立科学アカデミー言語文学研究所研究員）　日蒙辞典最大の語彙数、見出し語一万八五〇〇！［A5判／一五七五〇円］
ISBN 4-921146-33-0

ダンテ神曲原典読解語源辞典（地獄）（煉獄）（天国）
福島治（東京女子大学教授）　原典と英訳を全文併記。「神曲」読解に必要なすべてがここに！大江健三郎氏・中条省平氏・柳瀬尚紀氏推薦。（本文英文）［B5判／各四八三〇〇円］
ISBN 4-921146-77-2
ISBN 4-921146-78-0
ISBN 4-921146-79-9

日本の英語辞書と編纂者
愛知大学文學會叢書XI
早川勇（愛知大学教授）　幕末から戦後までの辞書刊行状況を網羅した年表と、辞書編纂に関わった人々の経歴。英語史研究者、必携！［B5判／六九三〇円］
ISBN 4-86110-064-X

ニュージーランド百科事典
ニュージーランド学会編　あらゆる情報を網羅する初の本格的事典。年表、人口推移表、行政区域図、姉妹都市一覧など資料も充実。英語索引付き。［A5判／九八〇〇円］
ISBN 978-4-86110-111-3

自著を語る

旅する対話　ディアスポラ・戦争・再生
姜信子／ザーラ・イマーエワ
在日三世の作家と、亡命チェチェン人ジャーナリストが、「予感」と「希望」の間で語り合う。（I面に広告）
四六判・並製・260頁／1890円
ISBN 978-4-86110-350-6

「予感なしにやってくる禍（わざわい）」に呑まれないために――姜信子

在日三世の私と、亡命チェチェン人ジャーナリスト、ザーラ・イマーエワが、カザフスタンを旅した記録とその時に交した対話、その後にふたりがそれぞれ別の地で考えつづけてきたことをまとめたのが、今回の『旅する対話』です。カザフに行ったのにはある必然と理由があるのですが、それは本を読んでいただくとして（笑）。

三・一一以後、日本のシステムとか状況の危うさや恐ろしさが噴出していますよね。でも、まるで何事もなかったかのように今までどおり社会を動かそうという者たちがいて、多くの人々も次第に何事もなかったような気持ちになってきている。でも耳を澄ませれば、ひたひたと迫ってくる危機の足音が聞こえるはずです。

この本をまとめていて印象深かったのは、ほとんどのチェチェンの人たちが「まさか戦争なんて起こらない」と思っていたのに、戦禍に呑まれていったことです。戦争や禍は、予感なしにやってくる。それが恐ろしい。たとえば、最近、東京の新大久保では「嫌韓デモ」が行われていて、「韓国人を殺せ！」なんて声があがっている。かつて、日本でもドイツでもそうであったように、こんなのは一部の過激な連中の愚かな行動と無関心でいるうちに、ある日気がついたら、取り返しのつかない事態の渦中にあるかもしれない。危機は、日常のなかへと、そ知らぬ顔して入り込んでくるんです。

耳を澄ますこと、予感を予感として感じ取ること、それをディアスポラ（国を持たない者）の眼で見つめたのが、本書です。

日本人も、今回の地震で被災された方の一部や福島第一の周辺住民は故郷に帰ることができないディアスポラ状況になっています。もしまたどこかの原発が吹っ飛んだら、あるいは周辺諸国との戦争に突入したら、さらに多くの日本人が居場所を失うことでしょう。そんな差し迫った予感を、希望へと書き換えていくにはどうすればいいのか、それを多くの方々と対話しつつ探っていきたいんです。

（談）

アントニオ・タブッキ　反復の詩学
花本知子（京都外国語大学講師）　書くことは生に参加する要素、生は書くことに参加する要素。いま〈生きることの混乱〉の物語が紡がれる。昨年三月に亡くなったタブッキの作品を読み解くための清新な文学評論集。［四六判上製・三四八頁／三一五〇円］
ISBN 978-4-86110-358-2

カフェの女主人
レイモン・ジャン 著／桑原隆行（福岡大学教授）**訳**　「あなたとセックスさせてくれたら、一〇万フランお支払いします」。怪しげな手紙がカフェの美人おかみの元に届き、静かな村は騒動に巻き込まれる。ひねりの効いたオトナのフランス小説。［四六判上製・二九四頁／二三一〇円］
ISBN 978-4-86110-356-8

フランス・ミュージカルへの招待
渡辺諒（早稲田大学教授）　二〇一三年、続々来日予定！　ホットなフランス発エンタテインメントを紹介する初の本。音楽と踊りが一体となった楽しさいっぱい、ド迫力の大スペクタクル劇が目白押し。軽くて深いミュージカルの魅力から、もう逃れられない！［四六判並製・二二〇頁／二一〇〇円］
ISBN 978-4-86110-344-5

エルヒー・メルゲンと七つの太陽――モンゴルのいいつたえ集
塩谷茂樹（大阪大学教授）**編訳／Ya・バダムハンド**（日本学術振興会外国人特別研究員）**コラム執筆**　太陽めがけて矢をはなつ弓の達人、トラと牛の子から生まれかわり怪物にたちむかう二人の親友…。総ルビで子どもも大人も楽しめる一〇のむかしばなし。［四六判並製・一六四頁／一六八〇円］
ISBN 978-4-86110-338-4

ポストモダンの処方箋

11

「戦後レジーム」の強制終了

白井聡

あの三・一一から二年が経った。この間私が痛感せざるを得ないのは、「戦後の終わり」である。「戦後の終わり」はさまざまな勢力によって、幾度も宣言されてきた。だが、こうした宣言が繰り返されたという事実は、この宣言が言葉・観念の次元にとどまり、現実における対応物を十分に見出すことができなかったことを示している。しかしながら、今度ばかりは、「戦後が終わった」という実感は強力な現実性を伴っている。それはなぜか。最大の理由は、今日の日本の社会状況が「戦後」を形容する最も支配的な物語であった「平和と繁栄」の明白な失効を告げているという事実に求められる。

「繁栄」の方は、いわゆる「失われた二〇年」によってはっきりと「衰退」へとすでに向かっていた。「平和」の方は、領土問題をはじめとする近隣諸国との摩擦の高まりによって、そして「平和な日本」のツケをほとんど全部沖縄に押しつけてきたことに対する抗議の声の高まりによって、その危うさを露呈しつつあった。こうした状況を大地震・津波と原発事故が襲ったわけである。

この惨事、特に原発事故を通じて露呈したのは、この国の「本当の姿」にほかならなかった。自国民に対してはひたすら情報を隠しながら、米軍にだけはしっかり情報提供する政府（SPEEDI問題）、怠慢と不作為を完全に暴かれているにもかかわらずいまだ事故を「想定外」（＝想定不可能）と規定する電力会社、これだけの惨事を引き起こしながら頑として利権を手放そうとしない原子力村、そしてそれを支える財界……。ここに姿を現した全般的腐敗と無責任の構造は、あの大東亜戦争へと国民を導いた権力の構造を否応なしに思い起こさせるものであった。

とすれば一体、「戦後」なるものはどこにあったのであろうか。「戦後」とは、まずもってあの戦争への悔恨と反省に基づいて始まった時代ではなかったのか。「平和と繁栄」があたかも幻であったかのように消え去りつつあるとき、われわれが眼前に見出すことになったのは、あの戦争へと突き進んで行った権力の姿と基本的に同じものであったのだ。かくして、「平和と繁栄」の物語が「戦後の本質」を覆い隠す外皮にすぎなかったのであり、いまやこの外皮が決定的に引き裂かれたのであるとすれば、この国の社会が赤裸々な「本音」を語り出し、それが「戦後の価値観」を正面から否定するものであるとしても、驚くには値しないだろう。

それでは、その「本音」ないし「戦後の本質」とは何なのか。ひとことで言えば、それは「敗戦の否認」である。八月一五日という「敗戦の日」が「終戦の日」と呼びかえられていることに最も端的に表されているように、敗戦の事実を意識の上で巧みに消去することが、戦後という時代を支えてきた。「われわれは負けてなどいない、したがって反省する必要も謝罪する義務もないし、責任追及を行なう必要もない」。これが戦後支配層の本音であり、この「否認」は、冷戦構造と経済発展によって首尾よく維持されてきた。

そして今日、崩壊過程に突入したのは、まさにこの「否認の構造」である。日本が抱える領土問題を例にとってみよう。三つの領土問題（尖閣・竹島・北方領土）のすべてにおいて日本政府の言い分が必ずしも道理あるものではないことが国民的に理解されていないのは、いずれの問題も第二次世界大戦の戦後処理、つまり日本の敗戦処理の問題であるという事柄の根本を、大多数の国民が理解しておらず、また政府が国民にこのことを理解させないよう活動してきたからである。しかし、言うまでもなく、こうした「否認」は、国際的に通用するものではない。中国の台頭と冷戦構造の崩壊がもたらした米国の国策の変化（すなわち、日本は同盟国であるよりも収奪の対象となる）によって、われわれは否応なしに「根本」を理解させられることに、遅かれ早かれなるであろう。

この三月に、私は『永続敗戦論――戦後日本の核心』と題する本を太田出版から刊行した。本書は、震災・津波、そして原発事故を契機としてはっきりと姿を現してきた「この国のかたち」を問うものである。それを私は「永続敗戦」と名づけた。この言葉は、敗戦を否認するがゆえに敗戦が際限なく続く、という状態を指している。この状態に対して、われわれは自ら終止符を打つことができるのか、それとも強制的に終止符が打たれることとなるのか。それを選択するのに残された時間は僅かである。

（政治学者）

この研究室が面白い！ 11

清泉女子大学　田中典子研究室

私が教えている語用論は、言語学の一分野です。一般的に、統語論、意味論、音声学などは、方法論と対象が明確ですが、語用論はそこに分類できないものを何でも拾いますから、「言語学のゴミ箱」と悪口を言われたこともあります（笑）。

語用論の面白さは日常生活に直結しているところです。前著『プラグマティクス・ワークショップ』の副題にしたように、身のまわりの言葉を題材にしますから、学生にも興味深く学んでもらえると思います。

語用論は、言葉と人との関係に焦点をあてますが、求めるのは「正しさ」ではなく、「適切さ」です。この場面ではこの方がより適切だという言葉の選択が語用論の関心事なんです。言葉は相手や状況によって意味が変わるものですよね。

「すみません」という言葉は、謝罪で使うときもあれば、「ありがとう」の意味で使うこともある。「ちょっとすみません」というように注意をうながすときにも使われます。グレーゾーンが多い分野ですが、人間っぽい学問だと思います。

文学や映画を題材にして研究する学生もいます。作中の会話は現実ではありませんが、それらしい人を創作していますから、昔と今の小説を比べて、恋人関係の違いを言葉の使い方から考察することもできます。

授業で教えている「論文の書き方」をまとめたのが、新刊『はじめての論文 ―語用論的な視点で調査・研究する』です。順を追って具体的に説明していますので、課題を一つ一つこなしていけば、無理なく論文完成につながるように工夫してあります。語用論的研究を事例にしていますが、他分野を学ぶ学生にも役立つことが多いと思います。

（インタビュー　山）

新刊

田中典子
『はじめての論文 ―語用論的な視点で調査・研究する』

政治◎経済

近代政治思想の基礎 ―ルネッサンス、宗教改革の時代
クエンティン・スキナー著／門間都喜郎（京都精華大学名誉教授）**訳**
膨大な文献の読解によって、近代に至る西洋政治思想の形成と展開をつむぎだす。名著、待望の翻訳！［A5判／七九八〇円］
ISBN 978-4-86110-181-6

世界金融危機 日中の対話 ―円・人民元・アジア通貨金融協力
上川孝夫（横浜国立大学教授）**・李暁**（吉林大学教授）**編**　国際通貨体制と国際金融の改革をめぐる議論を整理し、アジア通貨金融協力の現状と今後を展望する。日中共同企画！［四六判／三六七五円］
ISBN 978-4-86110-203-5

フランス帝国主義と中国 ―第一次世界大戦前の中国におけるフランスの外交・金融・商工業
篠永宣孝（大東文化大学教授）　第一次史料から利権争奪の交渉過程と結果を跡づける。［A5判／六〇〇円］
ISBN 978-4-86110-136-6

生命の経済学 ―生物学による経済学再構築
富森虔児（北海道大学名誉教授／桜美林大学名誉教授）　生物学にインパクトを受けた概念により既存経済学を見直す。［四六判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-161-8

戦争の読みかた ―グローバル・テロと帝国の時代に

加藤朗（桜美林大学大学院教授）　ネグリとハート、カルドーラの議論を整理、変貌する紛争の系譜を辿る。［四六判／二三一〇円］
ISBN 978-4-86110-144-1

「新自由主義」をぶっ壊す
青木育志（アナリスト）　「新自由主義」を政策と思想の両面から徹底批判。格差を肯定する「新自由主義」から、平等に配慮した「自由主義」への道を示す。［四六判／一六八〇円］
ISBN 978-4-86110-226-4

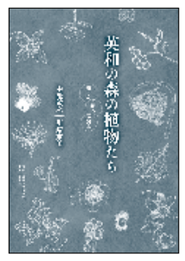
経済をデザインする
島岡光一（埼玉大学名誉教授）**編著**　南インドで体験したコミュニティの団結力に経済の原点を見る！［四六判／二五〇〇円］
ISBN 4-86110-088-7

伊藤昌哉　政論
小枝義人（千葉科学大学教授／拓殖大学客員教授）　二人の首相に仕えた政治評論家の幻の政局分析に、詳細な解説を付す。［四六判／一七八五円］
ISBN 4-86110-085-2

党人　河野一郎 ―最後の十年
河野洋平（前衆議院議長）**監修／小枝義人**（千葉科学大学教授／拓殖大学客員教授）**著**　豪腕政治家の波乱に満ちた晩年と魅力あふれる言動を追う。［四六判／一八〇〇円］
ISBN 978-4-86110-212-7

古代オリエント世界像からの脱出 ―ピラミッド・テキストから原始キリスト教までの神話・宗教・政治
磯部隆（名古屋大学名誉教授）　メソポタミア文明、出エジプト、古代ユダヤ教、第二イザヤを接続し、思想・表現の類似性と差異性をとらえる。［四六判／四五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-137-3

環境



英和の森の植物たち ―感じる、遊ぶ、食べる
中池敏之・川崎末美（東洋英和女学院）　五六五種類の植物図に、解説、エスプリの利いた短文やゆかりの詩を付した植物図誌。遊びに使用される植物、食用植物の料理法や保存法など、情報掲載。［A4判／二七三〇円］
ISBN 978-4-86110-321-6

三島のジャンボさん ―ミスター・グラウンドワーク
渡辺豊博（都留文科大学教授）　バイオトイレなど先進的な取り組みで知られる静岡のNPO「グラウンドワーク三島」事務局長の型破りな半生。女優・冨士眞奈美さんとの対談を併録。［四六判／一五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-233-2

英国発グラウンドワーク ―「新しい公共」を実現するために
渡辺豊博（都留文科大学教授）**・松下重雄**（金沢大学准教授）　議論よりもまずアクション。グラウンドワーク三島による先進的・創造的な地域再生のノウハウが満載。［A5判／一五七五円］
ISBN 978-4-86110-232-5

富士山学への招待 ―NPOが富士山と地域を救う
渡辺豊博（都留文科大学教授）　バイオトイレ設置など、ユニークな富士山再生活動の記録。［A5判／一五七五円］
ISBN 978-4-86110-229-5

世界遺産の自然と暮らし
今井一郎（関西学院大学教授）　フィールドワークで得たデータから「世界遺産」の実態に迫る！［A5判／二〇〇〇円］
ISBN 4-921146-98-5

言語

［俗語］から［国家語］へ ―スペイン黄金世紀の言語思想史
岡本信照（京都外国語大学准教授）　俗語としてのカスティーリャ語はいかにしてスペイン語という国家語に変貌したのか。［四六判／三五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-291-2

フェイス相互作用理論 ―日本語学習クラスにおける相互作用からフェイスワークをとらえる
横溝環（東洋英和女学院大学ほか非常勤講師）　人はいかにして自己像を獲得あるいは回避するのか。解釈主義的アプローチを用いつつ、シンボリック作用論の視点から日本語学習者間の事例を通して検証する。［A5判／四九〇〇円］
ISBN 978-4-86110-286-8

英語教育の実践 ―日本人のための英語学習論
小谷悠紀子（東京電機大学名誉教授）　英語を教えること、学ぶこととは、どういうことか。長年にわたる教育実践を総括し、日本の大学における英語教育の課題と展望を示す。［A5判／三八〇〇円］
ISBN 978-4-86110-364-3

英語教育の精神と実践 ―コミュニケーションから英米文学まで
岡田善明（日本大学講師）　新学習指導要領における具体的な指導法から、聖書や文学などの精神文化までを詳説。［A5判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-361-2

英語のルーツ
唐澤一友（駒澤大学教授）　英語の歴史的な発展をたどり、他言語と比較することで、英語の「なぜ」がよく分かる！［四六判／二二〇〇円］
ISBN 978-4-86110-283-7

言いさし発話の解釈理論 ―「会話目的達成スキーマ」による展開
荻原椎佳子（明海大学専任講師）　グライスなどの先行研究を批判的に継承しつつ、人間が普遍的にもつ「会話目的達成スキーマ」を探究。［A5判／四六〇〇円］
ISBN 978-4-86110-160-1

Experimental Studies on Prosodic Features in Second Language Acquisition
伊庭緑（甲南大学准教授）　単語の発音練習に先立つプロソディの訓練が自然な発音に有効なことを解明。（英文）［A5判／四八三〇円］
ISBN 978-4-86110-235-6

第二言語学習と個別性 ―ことばを学ぶ一人ひとりを理解する
津田塾大学言語文化研究所言語学習の個別性研究グループ編　出身国、年齢、ニーズ、目的が違うなど外国語習得にまつわる多様性への対応法を探る。［A5判／一六八〇円］
ISBN 4-86110-065-8

ウェブスター辞書と明治の知識人
早川勇（愛知大学教授）　日本におけるウェブスター辞書の需要を跡づける。福沢、内村ら文化人に多大な影響を与えたウェブスター辞書！［A5判／三九九〇円］
ISBN 978-4-86110-128-1

英単語のいのち
早川勇（愛知大学教授）　「アダムのリンゴ」って体のどこのこと？英単語の意味や語源を探る面白エッセイ。［四六判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-217-2

英語になった日本語
早川勇（愛知大学教授）　語源的にアフリカーンス語とされるmehosと梅干の関係は？ためになる英語トリビア！［四六判／一六八〇円］
ISBN 978-4-86110-089-5

言語テストの作成と評価 ―あたらしい外国語教育のために
オルダーソン、クラッファム、ウォール著／渡部良典（上智大学教授）**編訳**　コンピュータ処理などの技術的側面だけでなく、それを利用する人間の側面も重視することで、テスト開発の方法を批判的に検討する。［A5判／二九四〇円］
ISBN 978-4-86110-201-1

ブラジル人のためのニッポンの裏技 ―暮らしに役立つ日本語便利帳
松田真希子著／ティアゴ・サレス・ビント訳　日本で快適に過ごすための知恵や情報がいっぱい。工場など職場で使う用語も満載。［四六判／一五七五円］
ISBN 978-4-86110-129-8

生き物

海中快晴
大門直樹　広大な海の中で鮮やかな色模様の生きものたちが織りなすドラマティックな饗宴。ページを繰れば、そこは目も綾なるサカナたちの世界。西伊豆や南西諸島などで撮影した約一五〇枚を収録。［A5判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-090-1

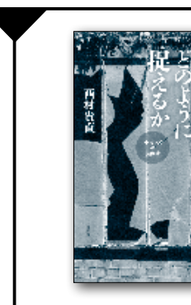
コバタンの繁殖 ―絶滅危惧種保存への挑戦
石川文也（日本鳥学会会員）　激減した白色オウム・コバタンの繁殖は、同種間攻撃のために困難を極める。種の保存のための方策、そして問題点とは何か？これまで明かされてこなかった繁殖の様子を詳細に記す。［四六判／二九四〇円］
ISBN 978-4-86110-195-3

技術◎工学

日越工学用語辞典
長岡技術科学大学工学辞典編纂委員会　見出し語約一万語。項目構成は日・越・英・カテゴリー。越語、英語から日本語を探せる索引。元素周期表、単位記号一覧表付。［A5判／二八〇〇円］
ISBN 978-4-86110-149-6

ラルテ・ヴェトラリア ―17世紀初頭のガラス製造術
アントニオ・ネリ著／日本ガラス工芸学会編　一六一二年出版された最古のガラス製法書を訳出。図版多数。［A5判／五二〇〇円］
ISBN 978-4-86110-131-1

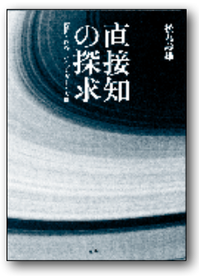
ミクロ経済学と時事問題 ―民営化から再販制度まで
高崎仁良（明治学院大学教授）　国鉄を地域で分割して民営化したのは間違いだった？　再販制度は生産者も流通業者も消費者も得をする？　ミクロ経済理論を現実問題に適用することで、俗説・俗論のウソを見抜き、経済学的なものの見方を提示する。［四六判上製・三四〇頁／二九四〇円］
ISBN 978-4-86110-346-9



貧困をどのように捉えるか ―H・ガンズの貧困論
西村貴直（関東学院大学准教授）　「自助努力」「自己責任」の欺瞞を暴く！　富裕層の生活水準は貧困層の存在を前提として維持されているという貧困の「積極的機能」に着目。アメリカでの事例をもとに、今後の日本におけるあるべき福祉政策の方向性を模索する。［四六判上製・三六〇頁／三五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-343-8

失敗しないNPO ―グラウンドワーク三島の20年とイギリスに学ぶ
渡辺豊博（都留文科大学教授）**編著**　経営的な視点で成功のための戦略を――。二〇年にわたって多くの失敗を繰り返しながら蓄積した「経験知」と「専門知」をまとめたNPOの実践的ノウハウ本。具体的な数字をあげつつ数多くの実例を紹介する。先進的なイギリスの情報も掲載。［A5判並製・二四八頁／一五七五円］
ISBN 978-4-86110-353-7

心理臨床と脱構築の経験 ―〈他者〉をめぐって
長田陽一（京都光華女子大学准教授）　未知なるものとしての〈他者〉の経験は、いかにして語ることができるのか。デリダ、バタイユ、クリプキ、フロイトらを参照しつつ、臨床実践をひとつのテクストとして読むことで、〈私〉の固有性・同一性を揺さぶる。［四六判上製・二六四頁／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-345-2



直接知の探求 ―西田・西谷・ハイデッガー・大拙
松丸壽雄（獨協大学教授）　自然科学と別の真理性は考えられないのか。あるとすれば、それを何らかの方法で「知る」ことはできるのか。四者の思想を吟味しつつ、科学万能主義を批判し、真理観の更新をせまる。［四六判上製・三九二頁／四二〇〇円］
ISBN 978-4-86110-347-6

異教の完成者 ―史的イエスをめぐる謎
波多野直人（武蔵大学教授）　〈新興宗教〉のひとつにすぎなかったキリスト教がなぜ世界宗教になりえたのか？歴史的実在としてのイエスの人物像と、諸教が混交していた当時の宗教状況を明らかにし、キリスト教信仰の本質にせまる。［四六判上製・二七六頁／三六七五円］
ISBN 978-4-86110-351-3

釈譜詳節〈上・中・下〉
朝鮮世祖纂述／河瀬幸夫　訳　一五世紀に発明されたハングルによって記述された韓国独自の釈迦伝「釈譜詳節」は、韓国文学史上最高傑作と言われている。「月印千江之曲」と「月印釈譜」をも合せ訳し、その全体像に迫る。本邦初訳の全三巻、ついに完結！［A5判／各巻六八二五円］
ISBN 978-4-86110-209-7 / 978-4-86110-363-6
978-4-86110-271-4

スペイン語語源辞典
太田強正（神奈川大学教授）　見出し語約七三〇〇。日本初のスペイン語語源辞典。語源を示すだけでなく、学習者が英語との関連でスペイン語の語彙を習得できるよう配慮。楽しく読みながら語彙が増える！［B6判上製・四六四頁／五四六〇円］
ISBN 978-4-86110-332-2

Languages and Language Policies In Insular Southeast Asia
河原俊昭（京都光華女子大学教授）
多言語社会・東南アジアでの言語政策を問う（英文）。［A5判／六二四八円］　ISBN 4-921146-64-0

Indigenous Languages Revitalized?
松原好次（電気通信大学教授）　英語支配によって衰退した少数派言語復権の途を探る（英文）。［A5判／五八〇〇円］　ISBN 4-921146-15-2

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis: Evolution, UG Residues, and Helen Keller
鈴木憲夫（神戸親和女子大学教授）
ヘレン・ケラーの例などを参照しながら、〈強い極小主義的テーゼ〉を探る（英文）。［A5判／八〇〇円］　ISBN 978-4-86110-114-4

Reflections on Chomsky's Strong Minimalist Thesis II: What UG Should be Like in the Context of Plato's and Darwin's Problems
鈴木憲夫（神戸親和女子大学教授）
幼児の第一言語習得に関わる「プラトンの問題」と、言語進化に関わる「ダーウィンの問題」を考察し、人間の言語に迫る（英文）。［A5判／七〇〇〇円］　ISBN 978-4-86110-300-1

教育

ワークシートで学ぶ　生徒指導・進路指導の理論と方法
林尚示・服部伴文・村木晃　ワークシートを活用することで文部科学省『生徒指導提要』の理解を促す、教職を目指す学生のための実践的な生徒指導の入門書。［B5判／二一〇〇円］　ISBN 978-4-86110-355-1

教師のゲートキーピング―主体的な学習者を生む社会科カリキュラムに向けて
スティーブン・J・ソーントン著／渡部竜也・山田秀和・田中伸・堀田諭訳　米国社会科教育史における論争を展望し、カリキュラムを柔軟に運用する教師像を模索する。［A5判／三〇〇〇円］　ISBN 978-4-86110-328-5

体当たり校長の学校づくり―8年間のニュースレター
横山芳春（豊見城市立座安小学校校長）
授業実践をとおして子どもの成長を願い、学校づくりに励む沖縄県初の民間人出身小学校長の奮闘記録。［四六判／二五〇〇円］　ISBN 978-4-86110-329-2

子どもの心にとどく授業―三重県桑名市立藤が丘小学校における六年
伊藤新司（元桑名市立藤が丘小学校長）**編著**　授業づくりをとおして子どもたちと真剣に向き合った先生たち三十四人の記録。［四六判／二五〇〇円］　ISBN 978-4-86110-326-1

言語教育とアイデンティティ―ことばの教育実践とその可能性
細川英雄（早稲田大学大学院教授）**編**
言語教育そのものが人間形成につながるという視点に立ち、ことばの学習／教育の社会的・文化的意味を問う。［A5判／二九四〇円］　ISBN 978-4-86110-289-9

日本における外国人留学生と留学生教育
鈴木洋子（武蔵野大学大学院教授）
詳細なデータをもとに、外国人留学生の実態や教育の変遷をたどり、現況を分析。実際的な今後のあり方を提言する。［A5判／二九四〇円］　ISBN 978-4-86110-268-4

実感から関係化へ―ある重度重複障害者と関わって
遠藤司（駒澤大学教授）　重度重複障害の子のもつ人間としての素晴らしさ、豊かさ、思考の深さ、二五年間の関わりから見えてきたこと。［四六判／二五〇〇円］　ISBN 978-4-86110-237-0

新版　教師養成教育の探究
横須賀薫（十文字学園女子大学学長）
なぜ教師は養成されなければならないか？　いかに養成されるべきか？　教師養成教育の名著、待望の復刊。［四六判／二三一〇円］　ISBN 978-4-86110-245-5

斎藤喜博研究の現在
横須賀薫（十文字学園女子大学学長）**編**　教育界に一時代を画した斎藤喜博の営為を次代につなぐための白熱の研究論考。［四六判／四八三〇円］　ISBN 978-4-86110-314-8

新版　生涯学習と地域社会教育
末本誠（神戸大学大学院教授）／**松田武雄**（名古屋大学大学院教授）**編**　生涯学習の歴史と現状を詳細に分析、新しい理念と方向性を提起。［A5判／二六〇〇円］　ISBN 978-4-86110-234-9

教育の経済―成り立ちと課題
三上和夫（神戸大学教授）　公的補助の不備、家庭の経済格差から生じる学歴格差等の問題を示し、教育政策について再考を促す！［A5判／三三六〇円］　ISBN 4-8-6110-049-6

石貨の島へ―ヤップの教育今昔
田中忠（川崎市立坂戸小学校教諭）
「勇気とロマンの島」に憧れながら教育の本質を模索する教師による南の島探訪記。［四六判／一五七五円］　ISBN 978-4-86110-265-3

沈まざる未来を―人間と教育の論に歌と詩と句「冬雲」を加えて
上田薫（教育哲学者）　教育の世界に身を投じ、新しい地平をひらこうとしてきた著者「最後の」著書。〝上田教育学〟の真髄を伝える。［四六判／二五〇〇円］　ISBN 978-4-86110-147-2

竹内レッスン―ライブ・アット大阪
竹内敏晴（演出家）　あなたの息づかいはゆったりしていますか？「からだ」がまるごといきいきするユニークなワークショップ。［四六判／二七三〇円］　ISBN 4-86110-076-3

増補「いい子」の非行―家裁の非行臨床から
佐々木光郎（静岡英和学院大学教授）
家裁調査官の立場から「いい子」による非行問題を再提言。［四六判／一八九〇円］　ISBN 4-921146-91-8

戦前感化・教護実践史
佐々木光郎（静岡英和学院大学教授）／**藤原正範**（鈴鹿医療科学大学教授）
「学校外の学校」で、子供史から除外された子供たちを導いた稀有の教育実践。［四六判／五〇四〇円］　ISBN 4-921146-18-7

教育亡国を越えて
小野四平（宮城教育大学名誉教授）
教育改革に身を挺し、全国行脚をおこなった林竹二への渾身の回答。［四六判／二三一〇円］　ISBN 4-921146-39-X

教師再生―石川県公立中学校における授業実践から
砂上昌一（全国同和教育研究協議会役員）**編著**　林竹二にならい、教師たちが〈再生〉をかけ、授業を吟味し苦闘した記録。［四六判／二〇〇〇円］　ISBN 4-86110-041-0

学校身体の管理技術―規律訓練から環境管理へ
中井孝章（大阪市立大学大学院教授）
規律訓練から常時監視の管理へと教育モデルは変遷してきたが、そこに問題点はないのか。［四六判／二六二五円］　ISBN 978-4-86110-151-9

学びを開くNIE―新聞を使ってどう教えるか
影山清四郎（横浜国立大学名誉教授）**編著**
日本における実践報告集。［A5判／二五〇〇円］　ISBN 4-86110-080-1

日中教育学対話
Ⅰ　教育学研究と教育改革の現状と課題
Ⅱ　黄済先生米寿記念論文集
Ⅲ　新たな対話への発展・深化を求めて
労凱声（首都師範大学教授）／**山崎高哉**（大阪総合保育大学学長・京都大学名誉教授）**共編**　教育思想、教育と公共性、教育のメタ理論、教師教育、儒教思想の教育に対する影響、多文化教育などをテーマ別に考察。［四六判／Ⅰ巻三三六〇円・Ⅱ巻二九四〇円・Ⅲ巻三三六〇円］　ISBN 978-4-86110-159-5　ISBN 978-4-86110-220-2　ISBN 978-4-86110-248-6

海峡を越えて―京畿高等女学校の思い出
太田孝子（岐阜大学教授）　日本植民地時代、朝鮮で教師をしていた日本人女性と朝鮮人の教え子・同僚にインタビュー。［四六判／二三一〇円］　ISBN 978-4-86110-157-1

デューイ・人間性実現への教育―米国カリキュラム開発を考える
海谷則之（龍谷大学教授）　デューイの思想を発展的に継承し、教育荒廃が進むアメリカでの改革を検証。［A5判／三〇〇〇円］　ISBN 4-921146-57-8

いのちを育む教育学
吉岡良昌（東洋英和女学院大学教授）／**大川洋**（東京理科大学准教授）　多面的ないのちの諸相を総合的にとらえ、自己肯定感を育む教育の理論と実践。［四六判／二三一〇円］　ISBN 978-4-86110-143-4

ポストモダンの自由管理教育―スキゾ・キッズからマルチ・キッズへ
柳沼良太（岐阜大学大学院准教授）
戦後から現在に至る子ども像と教育制度の変遷をポストモダン思想で読み解く。［四六判／二三一〇円］　ISBN 978-4-86110-241-7

野外自然体験学習と理科教育―よりよい指導のために
宮下治（関東学院大学准教授）　指導計画、開発教材、授業実践記録、豊富な実例をもとに具体的な指導法を紹介。［B5判／三一五〇円］　ISBN 978-4-86110-169-4

幼児キャンプ―雪の体験
山梨幼児野外教育研究会監修　指導二〇年の経験から「使える」野外教育の活動・指導事例を集成。［B5判／二〇〇〇円］　ISBN 4-921146-40-3

母の愛が奇跡を生む―発達の遅れに挑むラーニング・ボックス学習法
立川勲（よこはま児童文化研究所顧問）**編**　藁をもつかむ思いで探し回り、遂にたどりついた画期的な自学自習の学習法。［四六判／一五七五円］　ISBN 978-4-86110-098-7

お年寄りと話そう
日野純子（立教大学准教授）　お年寄りとのコミュニケーションに悩む人のために、簡単だけど大切な、聞きかたの話しかたの二〇のコツを伝授。［四六判／一六八〇円］　ISBN 978-4-86110-168-7

先生、いのちのことを教えて―引き揚げから養護教諭へ
引地ユリ　独自の方法論で性教育を行ってきた養護教諭の壮絶な半生。［新書変型判／一〇〇〇円］　ISBN 978-4-86110-269-1

マスメディア

「敵国語」ジャーナリズム―日米開戦とアメリカの日本語新聞
水野剛也（東洋大学准教授）　日米開戦後、米政府による統制をうけつつも日本語新聞は必死の後退戦を展開する。報道の自由か国益かで揺れる政府と、未曾有の危機に直面したジャーナリズムの命運。［A5変型判／五四六〇円］　ISBN 978-4-86110-258-5

日系アメリカ人強制収容とジャーナリズム―リベラル派雑誌と日本語新聞の第二次世界大戦
水野剛也（東洋大学准教授）　「日系人強制収容・立ち退き問題」を新聞はどう報じたのか。精密な紙面比較・分析から権力とメディアの関係を明るみに出す。［A5変型判／四八三〇円］　ISBN 4-86110-038-0

作法学の誕生
山根一郎（椙山女学園大学准教授）
失われ、形骸化した作法の本来の意味を記号論により分析・批判する。［四六判／二九四〇円］　ISBN 4-921146-97-7

台湾―メディア・政治・アイデンティティ
本多周爾（武蔵野学院大学大学院教授）
中国寄りか独立かで揺れる民衆のナショナル・アイデンティティと、政府の政策。台湾のメディア事情と政治との関係、民主化後の変遷を分析。［四六判／二五〇〇円］　ISBN 978-4-86110-216-5

マスメディア論―現場と社説と地方紙と
大西正行（十文字学園女子大学教授）
政権交代、沖縄基地問題などの大問題を全国紙・地方紙はどう論じたか。ネットに押されるなか、記者魂の復活をとなえる。［四六判／一八九〇円］　ISBN 978-4-86110-228-8

心理

デイケアの心理学
浮田徹嗣（横浜市立大学准教授）
ロール・プレイングを利用した他者理解、終末期医療における意思決定など豊富な事例をまじえつつ論じる。［四六判／三一五〇円］　ISBN 978-4-86110-306-3

看護ケアと共感的理解―尺度の開発とコミュニケーションスキル
永野ひろ子（カウンセラー）　患者への共感的理解度を客観的に測定し、相手の視点に立つための接し方を提案。［四六判／二八〇〇円］　ISBN 978-4-86110-307-0

ココロのトリセツ
佐賀枝夏文（大谷大学教授）　無理をするとこじれるココロの問題。ありのままのあなたをつつみ、なごませるヒント集。［四六判／一三六五円］　ISBN 978-4-86110-282-0

環境心理学―環境デザインへのパースペクティブ
槙究（実践女子大学教授）　豊富なデータと事例から人間と環境のかかわりを分析。環境心理学の全体像を見通す。［A5判／二四〇〇円］　ISBN 4-86110-010-0

心理学―梅津八三の仕事
中澤惠江（国立特殊教育総合研究所室長）**編**　天才心理学者の仕事を集成。（品切）［B5判三巻一四〇〇頁＋レデイ＋力セット揃定価／八九二五〇円］

ロール・プレイング―即興劇による人間の探求と治療
川幡政道（横浜市立大学教授）　即興劇を通して自己の役割を創造し、日常生活に埋没した自発性の発見と訓練をうながす独創的な手法と実践。［四六判／二三一〇円］　ISBN 978-4-86110-155-7

スピリチュアル

見捨てられる不安―家族と社会の現在
川幡政道（横浜市立大学教授）　家庭内離婚、DV、拒食、うつ…病理にむしばまれ崩壊する現代の家族と社会。［四六判／二三一〇円］　ISBN 978-4-86110-158-8

魂のかけら―ある物理学者の神秘体験
佐川邦夫　物理学者の魂を突き動かす神秘体験。［四六判／一八九〇円］　ISBN 978-4-86110-095-6

スピリチュアル心理学入門
石川勇一（相模女子大学教授）　こころを扱いながら、これまで交流のなかった臨床心理学とスピリチュアリティをつなぐ。厳選された一二〇項目をやさしく解説する画期的な入門書！［A5判／二二〇〇円］　ISBN 978-4-86110-179-3

営業部→発

本屋に行こう vol.11

往来堂書店
〒113-0022 東京都文京区千駄木2-47-11
TEL 03-5685-0807
http://www.ohraido.com/

お客さんを呼ぶ「文脈棚」の工夫

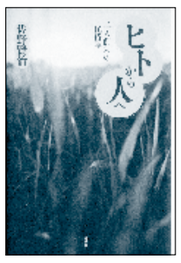
千代田線千駄木駅の団子坂口を出て右にまっすぐ。不忍通沿いに5分歩いたところに店はある。

店に入ってまず目に飛び込んでくるのは天井から垂れ下がる書き初め。店主、笈入建志さんに伺うと店頭での書き初めイベントのときのものだそうだ。レジ前には、なんと焼き菓子やパンが置かれている。近所の食堂と協力して期間限定で販売しているとのこと。こんなイベントが3ヶ月に一度企画されている。「町の本屋さん」とはひと味ちがう。

書棚をぐるっと一回り眺めてみると「隣になにを置くか」に注意を払ってつくられた「文脈棚」を発見。本来は別の棚に収められていた本が並ぶ。フィクションとノンフィクションが平然と同じ棚に並んでいたりする。「女の生態」、「「宗教」ってなに？」などといった興味をそそるジャンルで棚が構成されていた。隣りあった本と本との間に文脈が生まれることで、本はもっと魅力的になる。「いまの時代、お客さんと書店との間で情報の差はない。書店員はどういう本があるかを知っているだけでは駄目で見せ方が大事」という。

工夫されてますね、というと「お店を開けて待っているだけではお客さんは来ないから」。お客が来ない「から」なにをするのか、往来堂書店はなにをしているのか。店主の思いと工夫を見に、千駄木を訪れてみてはどうだろうか。

アジア史

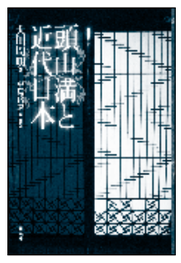


ヒトから人へ―〝一人前〟への民俗学
佐野賢治（神奈川大学教授／日本常民文化研究所所長）　子供はどこから／仮親／福子・福助／胞衣／嬰児籠／七五三／児やらい／隠れ鬼／こけし／子守唄／疱瘡神／……ヒトが人になるための知恵を産育儀礼の民俗に見る。［四六判／二五〇〇円］　ISBN 978-4-86110-281-3

僕の解放前後―一九四〇―一九四九
柳宗鎬著／白燦訳／太田孝子日本語校閲　日本軍占領下に育った作家が少年期を回想する。韓国現代文学の旗手、初の翻訳。現場体験者のみが語れる圧巻の現代史！［四六判／二九四〇円］　ISBN 978-4-86110-164-9

かの冬、そして秋―僕の朝鮮戦争
柳宗鎬著／白燦訳／太田孝子日本語校閲　韓国に生まれ育った少年の曇らぬ眼がとらえた世界、人生、祖国。「この苦労を昔話として語るときが必ず来る」。［四六判／二九四〇円］　ISBN 978-4-86110-256-1

保生大帝―台北大龍峒保安宮の世界
尾崎保子（元昭和女子大学教授）　保生大帝を主神として祀る台北大龍峒保安宮。信仰空間の深部に踏み込む宗教美術研究。［A5判／二九四〇円］　ISBN 978-4-86110-105-2



頭山満と近代日本
大川周明著／中島岳志（北海道大学准教授）**編・解説**　革新右翼の理論家が、伝統右翼の巨人を描く。敗戦直前の緊迫する状況下で書かれた幻の原稿、遂に発見！［四六判／二三一〇円］　ISBN 978-4-86110-134-2

つながりあう知―クララと明治の女性たち
福田須美子（相模女子大学教授）　十代で来日し、勝海舟の三男と結婚、深く日本に入りこんだアメリカ女性の生涯。［四六判／二三一〇円］　ISBN 978-4-86110-177-9

太平洋問題調査会［1925～1961］とその時代
山岡道男（早稲田大学教授）**編著**
世界初の本格的国際非政府組織は、何を成し遂げたか。［A5判／四八三〇円］　ISBN 978-4-86110-211-0

倭寇―商業・軍事史的研究
太田弘毅（東北女子大学教授）　密輸商業団としての実態を探る。［A5判／一三六五〇円］　ISBN 4-921146-51-9

世間師・宮本常一の仕事
斎藤卓志（安城市職員）　民俗学の偉人にとっての歩くこと、書くこと、生きることの意味を問いかける。［四六判／三三六〇円］　ISBN 978-4-86110-156-4

1920年代の日本と国際関係―混沌を越えて「新しい秩序」へ
杉田米行（大阪大学准教授）**編**　内政と外交の両面でさまざまな変転を迫られながら、新しい秩序を模索していた一九二〇年代の日本を多角的に再検討。［四六判／二六二五円］　ISBN 978-4-86110-262-2

mini 帰ってきた 大河 しりあがり寿

第十幕　春の巻

江戸城はちょっとした騒ぎになっていた。いわゆる人事についてである。

「出世間違いなしと言われた速水主水があのようなお役目にやられるとは」

「噂によれば色男の主水はあちらの怒りを買ったそうな…」

「大奥!?」

「しっ！」

そこへ血相を変えて飛び込んできたのはワワサの主、速水主水本人であった。

「これはいったいどうしたことじゃー！」主水はかまわず男子禁制の大奥に向かっていく。

「ええい無礼な、これより先は大奥でございますぞ」

女中どもが止めに入るが主水は聞く耳を持たない。

「誰がこのような仕打ちを！」

抵抗する侍女たちをかき分けて主水は奥へ奥へと進む。

「今回の仕打ち、仕組んだのは大奥ではない」

位の高そうな女官が立ちふさがる。

「大奥ではなく『もっと大奥』じゃ！」

「大奥より奥があったか！」

主水がさらに奥へ向かって何枚かのふすまを開けるとまたさらに位の高そうな女官が

「『さらにもっと大奥』じゃ！」

「うぬぬ」

その後もふすまを開けるたびに

「『さらにもっとマジ大奥』じゃ！」

「『超さらにもっともっとマジ大奥』じゃ！」

「『スーパーウルトラ大奥』じゃ！」

などとキリがない。

そしてついに

「究極のファイナル大奥」

をガラッと開けると、

そこは裏口で暖かな春の陽射しがポカポカと主水の上に降り注いでいるのであった。

中華街プチトリップ

伊藤まさこ

横浜の中でも田園都市線沿線の新しい街で生まれ育ったせいか、元町や中華街といった山手の方の、横浜らしいところが好きです。それは幼い頃の思い出が影響しているからかもしれません。

子どもの頃、伊藤家はお正月に中華街の華正楼に食事に行くのが習慣でした。食事のあとは、家族で店の周りや港を散歩。最後は元町で洋服や雑貨などを買ってもらいます。父はとても忙しい人でしたので家族で外食することはごくまれなこと。だから、小さな私はそのお出かけを毎年とても楽しみにしていたのです。

中華街や元町には今でもごはんを食べに行ったり、食材を買いに行ったりしています。先日も永楽製麺所と大木ハムに行ったばかり。永楽製麺所の麺は添加物など入っていない昔ながらのもの。大木ハムは日本で初めてハムを作ったところ。どちらも、おいしいのはもちろん、安心して買い物できるお店です。

お店の方とお話しするのも楽しみのひとつ。どちらの店でも、買い物途中にひと言、ふた言、たわいもないことですが言葉を交わします。この界隈は、昔に比べると観光客向けの店が増えましたが、まだまだこんなやりとりができる店が変わらずにある。それは私にとってとてもうれしいことなのです。

中華街のメインストリートの中程にある、蒸篭（せいろ）で有名な料理道具の店、照宝もこの辺りに来ると必ず寄る店のひとつです。ここでもお店の方とおしゃべり。道具の使い方などていねいに教えてくれますよ。

同じ横浜でも実家からは少し離れているので、地元とはいえ、訪れるとちょっとした旅行気分に浸れる。それもこの街が好きな理由のひとつかもしれません。

親元から独立してからは東京や長野で過ごしました。今では仕事や旅行で日本のあちらこちらを訪れますが、実家に帰ったり、中華街などを訪れると、ああ、横浜っていいな、なんて思います。人と人との距離が適度に離れていてとても気が楽。都会過ぎず、田舎過ぎない。この程よい空気が肌に合うんでしょうね。

こんな風に色々な土地に住んだり、旅するようになって、横浜に住んでいる時は見えなかったことが見えてきたような気がします。今は子どもの頃とはまた別の横浜のよさを味わっています。

（談）

●スタイリストとして多くの女性誌や料理本で活躍。著書に『伊藤まさこの雑食よみ』（メディアファクトリー）など多数。

社会◎歴史

多文化組織の日本人リーダー像 ―ライフストーリー・インタビューからのアプローチ
石黒武人（明海大学講師）
多文化組織でリーダーとして活動する日本人のコミュニケーション行動は、どのような傾向と問題点を持つのか。英会話学校でのフィールド調査をもとに、対話的構築主義の見地から明らかにする。［四六判／三五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-322-3

聖地と祈りの宗教社会学 ―巡礼ツーリズムが生み出す共同性
岡本亮輔（慶應義塾大学ほか非常勤講師）
伝統が崩れ、個人がキリスト教を消費する時代に、人々はどう他者との絆を結び信仰を構築するのか。ツーリズム化する聖地巡礼を通じて織り成される新しい共同性を探究する。［A5判／五二五〇円］
ISBN 978-4-86110-315-5

ブルシェンシャフト成立史 ―ドイツ「学生結社」の歴史と意義
菅野瑞治也（京都外国語大学教授）
生涯を通じた友情、〝本物の〟決闘、独特のしきたりと儀式、フリーメーソンとの敵対関係など、何百年と続く共同体の魔力に迫る。［四六判／四四一〇円］
ISBN 978-4-86110-304-9

移行期ロシアの繊維産業 ―ソビエト軽工業の崩壊と再編
藤原克美（大阪大学准教授）
社会主義時代からソ連崩壊後の経済混乱期、一九九八年八月危機を経て現在に至る繊維産業の歴史と状況を詳細に分析し、ソビエト軽工業の崩壊と再編の過程を総括する。［A5判／四二〇〇円］
ISBN 978-4-86110-317-9

近代スコットランドの社会と風土 ―〈スコティッシュネス〉と〈ブリティッシュネス〉の間で
小林照夫（関東学院大学名誉教授）
イングランドと対峙しつつも共存してきた〝国家なきネイション〟の独自の歩みを、政治・宗教・産業・都市の観点から多面的にたどる。［四六判／二九四〇円］
ISBN 978-4-86110-257-8

インターネット文化の諸相 ―グローバリゼーションを生きぬく知的戦略
若林一平（文教大学教授）　身近な事例から海外事情までを取り上げ、ネット社会における日本のあるべき姿を提示する。［四六判／三五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-267-7

ネットワーク社会と空間のポリティクス ―都市・モダニティ・グローバリゼーション
大澤善信（関東学院大学教授）　あらゆるものが〈情報〉として脱質料化されてしまうこの世界で、何が展望されるのか。ハーバーマス、ギデンズらの論考をたどりつつ、グローバリゼーションの批判理論を企てる。［四六判／二九四〇円］
ISBN 978-4-86110-202-8

保守のヒント
中島岳志（北海道大学准教授）　混迷の日本をどう捉えればいいのか。保守と右翼の違い、マニフェスト選挙の問題点など、気鋭の学者が近代日本史をふまえつつ論じる。宮台真司氏とのロング対談を収録。［四六判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-227-1

グローバリゼーション、市民権、都市 ―ヘクシスの社会学
岩永真治（明治学院大学教授）　都市と市民社会の関係を歴史的に問い直しながら、国境を越えた市民権を構成する単位としての都市社会を展望。［A5判／三五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-140-3

国際社会学の実践 ―国家・移民・NGO・ソーシャルビジネス
三橋利光（東洋英和女学院大学教授）
個人から始まる行動が、家族→地域社会→国民国家社会→大地域圏を経て、地球社会に達する過程を具体例とともに描き出す。［四六判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-263-9

国際社会学の挑戦 ―個人と地球社会をつなぐために
三橋利光（東洋英和女学院大学教授）
二一世紀に生きる個人が自己を充実させながら「望ましい地球社会」を目指して生きるための方向を模索。［四六判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-142-7

エスノメソドロジーの可能性 ―社会学者の足跡をたどる
椎野信雄（文教大教授）　ガーフィンケルの提唱した方法の可能性をミードらの足跡をたどりつつ探る。［A5判／四九〇〇円］（品切）

サステイナブルな社会を目指して
木村武史（筑波大学准教授）編著
サステイナビリティを経済・開発、生命・社会、思想・宗教などのさまざまな観点から多面的に論じる。［A5判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-141-0

現在と性をめぐる9つの試論 ―言語・社会・文学からのアプローチ
小玉亮子（お茶の水女子大学教授）編著　働き方・生き方の自由が常識となった今も作動するジェンダーの呪縛。［四六判／一八九〇円］
ISBN 978-4-86110-117-5

学習のエスノグラフィー ―タンザニア、ネパール、日本の仕事場と学校をフィールドワークする
川床靖子（大東文化大学教授）　学習における知識と実践の関係を問い直し、学習環境デザインの未来を提示。［四六判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-113-7

IT社会の護身術
佐藤佳弘（情報文化総合研究所所長）
「ケータイは身体に悪い?」「情報漏洩を防ぐ万全のセキュリティは?」暮らしを守る心構えをやさしく解説。［四六判／二二〇〇円］
ISBN 978-4-86110-204-2

表象のヴェネツィア ―詩と美と悪魔
鳥越輝昭（神奈川大学教授）
バイロンの詩、ヴィスコンティの映画、ホイッスラーの風景画など、ヴェネツィアを切り口として読むヨーロッパ文化史。［四六判／三三六〇円］ISBN 978-4-86110-266-0

ガラスのなかの古代ローマ ―三、四世紀工芸品の図像を読み解く
藤井慈子（ローマガラス研究家）　異教からキリスト教への変遷を映す金箔ガラス。プテオリとパイアエのランドマークを描く景観カット付球状瓶。非文献史料が明らかにする庶民の暮らし、祈り。［A5判／五八〇〇円］
ISBN 978-4-86110-184-7

ガラスの文明史
黒川高明（日本ガラス工芸学会理事）
人類が初めてつくった物質＝ガラスの歴史を、半世紀近くガラス製造に関わってきた著者が分かりやすく解説。［A5判／五〇〇〇円］
ISBN 978-4-86110-172-4

フランス革命を旅したイギリス人 ―リグビー博士の書簡より
エドワード・リグビー著／川分圭子（京都府立大学教授）**訳**　パスティーユ襲撃の記録を含む書簡は、当時のヨーロッパの文化・人的交流をいまに伝える。［四六判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-171-7

狩猟の文化 ―ドイツ語圏を中心として
野島利彰（駒澤大学教授）　狩猟方法、解体処理技術、密猟の実例をはじめ、狩猟学や狩猟文学、信仰との関連を詳述。［四六判／三一五〇円］　ISBN 978-4-86110-210-3

［増補改訂］ハプスブルクの実験 ―多文化共存を目指して
大津留厚（神戸大学教授）　複雑巧妙な政策により多民族・多言語・多文化共存を実現した「実験」の意義を問う。［四六判／二三一〇円］
ISBN 978-4-86110-097-0

イングランドの地名 ―起源と歴史を訪ねて
ケネス・キャメロン著／吉見昭徳（明治学院大学名誉教授）**訳**　ケルト、スカンジナビア、フランスなど、さまざまな民族や地域に由来する地名を分析することで見えてくる、イングランドの歴史・自然・風土。［A5変型判／四五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-290-5

多民族の国イギリス ―4つの切り口から英国史を知る
唐澤一友（駿河大学教授）　国の構成、国旗、紋章、英語。やさしい切り口から、奥深いところへ。［四六判／二一〇〇円］
ISBN 978-4-86110-148-9

京都の中のドイツ
青地伯水（京都府立大学教授）**編**　祝祭、造園、教育、建築、思想の視点から、京都がどのようにしてドイツ文化を受容したのかをさぐる。［四六判／三三六〇円］
ISBN 978-4-86110-266-0

黒人差別と国民国家 ―アメリカ・南アフリカ・ブラジル
A・W・マークス著／富野・岩野・伊藤訳　「白人統一」「社会安定」のために国家は黒人差別を利用してきた。なぜ「黒人」なのか。［A5判／六五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-107-6

ブラジルの都市問題 ―貧困と格差を越えて
住田育法（京都外国語大学教授）**監修／萩原八郎・田所清克・山崎圭一編**　著しい経済発展をとげながら、いまなお貧困にあえぐ多くの人々がいるブラジルの巨大都市がかかえる諸問題に、多様な角度からアプローチ。［四六判／三八〇〇円］
ISBN 978-4-86110-173-1

変容する冷戦後の世界 ―ヨーロッパのリベラル・デモクラシー
永松雄彦・萬田悦生（京都外国語大学教授）**編**　旧西側諸国と旧東側諸国における議会制民主主義の諸相を探る。［四六判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-224-0

イランとイスラム ―文化と伝統を知る
森茂男（大阪大学教授）**編**　つねに世界情勢の「台風の目」となる国イランを理解する。古代宗教、神秘主義から文学、習俗、ナショナリズムまで。［四六判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-215-8

牡牛と信号 ―〈物語〉としてのネパール
山本真弓（山口大学准教授）／**序・佐々木幹郎**（詩人）　ネパールの錯綜する現実を描きつくす小説のような現代史。谷川俊太郎氏推薦。［四六判／二三一〇円］
ISBN 4-921146-60-8

アメリカ・コミュニケーション研究の源流
E・デニス／E・ウォーテラ共編著／伊達、藤山他訳　コミュニケーション研究の歴史を総合的にまとめる。［A5判／四五〇〇円］
ISBN 4-86110-024-0

アイズ・オン・エイズ ―開発援助における感染症対策
成田弘成（桜花学園大学教授）**編著**
人類学・医学・教育学の視点から、アフリカ、中南米、アジア、太平洋の国々を調査研究。［A5判／二八〇〇円］
ISBN 978-4-86110-150-2

19歳のライフデザイン
江戸川大学ライフデザイン学科編
大学の勉強をロハスに活かすためのハンドブック！［A5判／一五〇〇円］　ISBN 978-4-86110-125-0

人類学

エコツーリズムの民族誌 ―北タイ山地民カレンの生活世界
須永和博（獨協大学専任講師）　森林破壊者のレッテルを貼られた山地少数民族は、森でどう生きるのか。伝統的な知恵を生かし経済開発に巻き込まれないツーリズムを実践しながら、新たなアイデンティティを獲得していくカレンの姿を描き出す。［四六判／四八三〇円］
ISBN 978-4-86110-327-8

増殖するシャーマン ―モンゴル・ブリヤートのシャーマニズムとエスニシティ
島村一平（滋賀県立大学専任講師）
猛烈な勢いでシャーマンが増え続けているのはなぜか。フィールド調査を重ねる中で明かされる、悲劇の歴史とエスニシティ。［A5判／七八七五円］
ISBN 978-4-86110-299-8

身体と境界の人類学
浮ヶ谷幸代（相模女子大学教授）　糖尿病患者は、訓練によって自分の血糖値を言い当てることができるようになる…わくわくするようなトピックと豊富な事例で人類学の魅力を伝える。［A5判／二三一〇円］
ISBN 978-4-86110-244-8

ナショナリズムと宗教 ―現代インドのヒンドゥー・ナショナリズム運動
中島岳志（北海道大学准教授）　インド国内メディアでさえ取材の難しい過激なナショナリズム運動の理念と活動実態に迫る。［四六判／三八〇〇円］　ISBN 4-86110-048-8

インカ帝国の成立 ―先スペイン期アンデスの社会動態と構造
渡部森哉（南山大学准教授）　アンデス諸社会の興亡を新たなモデルによりダイナミックに描く。［A5判／八〇〇〇円］
ISBN 978-4-86110-205-9

やわらかな開発と組織学習 ―ニジェールの現場から
関谷雄一（東京大学准教授）　開発援助の過程を組織学習と認知科学の視点から分析、ボランティア組織のあるべき姿を探求。［A5判／四八〇〇円］
ISBN 978-4-86110-208-0

Social Development, Culture, and Participation: Toward theorizing endogenous development in Tanzania
阪本公美子（宇都宮大学准教授）　経済指標のみに着目した開発観を改め、フィールドワークで得た市民の声と自然・文化の多角的分析を基に内発的発展のあり方を探る。（英文）［A5判／六八〇〇円］
ISBN 978-4-86110-174-8

「精霊の仕業」と「人の仕業」 ―ボルネオ島カリス社会における災い解釈と対処法
奥野克巳（桜美林大学准教授）　インドネシア辺境の暮らし、神話、儀礼、癒し、呪い、狂気。［A5判／六八〇〇円］　ISBN 4-86110-000-3

帝国医療と人類学
奥野克巳（桜美林大学准教授）　帝国主義時代以降、世界中に広まった近代医療の自明性を問う。［四六判／二三〇〇円］
ISBN 4-86110-062-3

精霊の子供 ―コモロ諸島における憑依の民族誌
花渕馨也（北海道医療大学准教授）
憑依儀礼が自他の区別を融解、もう一つの「現実」を作り上げる。［A5判／六八〇〇円］
ISBN 4-86110-031-3

癒しと呪いの人類学
板垣明美（横浜市立大学准教授）
ヴェトナムとマレーシアでのフィールドワークから「癒し」の諸相をさぐる。［四六判／二九四〇円］
ISBN 4-921146-86-1

ヴェトナム ―変化する医療と儀礼
板垣明美（横浜市立大学准教授）**編／末成、宮沢他著**　結婚式・葬式や、ハーブの使用法、村の医療体制などに関するフィールドワーク。［四六判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-145-8

学問の暴力 ―アイヌ墓地はなぜあばかれたか
植木哲也（苫小牧駒澤大学教授）　江戸末期に犯罪とされたアイヌ墓地発掘は明治期、「学術調査」の名の下に公認される…。事例を丹念に追い、知はいかにして権力性と暴力性を帯びるのかを探る。［四六判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-152-6

シリーズ　来たるべき人類学

1 セックスの人類学
奥野克巳・椎野若菜・竹ノ下祐二編　イルカやサルの性生活から、性転換、ペニスピンまで、フィールドワークを通じて動物と人間の性に肉薄。［四六判／二三一〇円］
ISBN 978-4-86110-180-9

2 経済からの脱出
織田竜也・深田淳太郎編　生命、市場、時間、貨幣、感情、贈与…新たな知が、危機のなかから姿を現す。［四六判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-200-4

3 宗教の人類学
吉田匡興・石井美保・花渕馨也編
遠い存在のようでいて、日常に埋め込まれている現代の宗教を我が身に引き寄せる。［四六判／二〇〇〇円］
ISBN 978-4-86110-216-5

4 アジアの人類学
→一面広告

5 人と動物の人類学
奥野克巳・山口未花子・近藤祉秋編
ヘラジカと話す男、ゴリラに「なる」人間、狩猟者に身を捧げたウサギ…。ヴィヴェイロス・デ・カストロやティム・インゴルドを補助線にして、ペットや家畜としてだけでない、多様な人と動物の関係を探る。［四六判／二五〇〇円］
ISBN 978-4-86110-325-4

「思想の場所」

十二　水道橋

中島岳志
Takeshi Nakajima

JR水道橋駅の歴史は古い。開業したのは一九〇六年。外堀沿いの崖を削ったため、ホームは高架になっている。

一九四七年、小林秀雄はこのホームから駅の下まで転落した。

小林は泥酔していた。夜も遅かったため、東京方面行きのホームにいたのは、彼一人だけだった。片手には、飲み残しの入った一升瓶。戦争の爆撃によって、鉄柵は壊れていた。

酔った小林はホームに座り、眠り込んでしまった。そして、酩酊状態のまま、外堀側に転落した。

落ちた場所は、駅の資材置き場だった。左手はコンクリートの塊、右手は鉄材の堆積。その間にできたわずかな隙間に「狙ひでもつけた様に」、うまく落ちた。そこには石炭殻が放置され、雑草が茂っていた。

胸を強く打ち苦しかったが、かすり傷一つなかった。一升瓶は、コンクリートに当たり、粉々に砕けていた。ガラスが差し込んだ外灯の光に照らされ、光っていた。その輝きを目にしたとき、小林の中で「母親が助けてくれた事がはつきりした」。駆け付けた駅員によると、先週もホームから転落した人がおり、即死だったという。

小林は医者を呼ぶことを拒み、駅で一晩寝かせてほしいと頼んだ。そして、水を一杯飲み、朝まで熟睡した。翌日、目覚めの気分は「実に精神爽快だつた」。

小林の母が亡くなったのは、転落の二か月前のことだった。その時も、彼は「妙な体験」をした。

夕暮れ時に蝋燭が切れたため、買いに出かけた。門を出ると、小川に一匹の蛍が飛んでいた。この年、初めて見る蛍だった。その蛍は今までに見たこともない大ぶりのもので、見事に光っていた。

――「おつかさんは、今蛍になつてゐる」

そう思った。

本当は少し違う。「おつかさんが蛍になつたとさへ考へはしなかつた。何も彼も当たり前であつた」。

小林は、この出来事を「童話的体験」と呼んでいる。事実の直接の体験を正直に書こうとすると、童話的にならざるを得ないというのだ。

私たちは純粋経験を言語化できるのか。言語化される以前の直接体験を、言語に置き換えることができるのか。

この体験を言語化すると、自己が体験から疎外される。たとえ童話的に書いたとしても、「おつかさんが蛍になつた」と表現する以前の直接的感覚は、表現しつくせない。言語とは一体何か？　言語的動物としての人間とは、いかなる存在なのか？

批評家・小林にとって、最大のテーマは「言葉」だった。私たちは言葉を所有しているのではない。言葉に所有されている。言葉は、いつもままならない。

そして、言葉は常に過去からやってくる。私の口から出る言葉は、私だけのものではない。私の言葉には、いつも死者が内在している。

小林にとって、言葉を問うことは死者と交わることだった。両者はどうやっても切り離すことができない。言葉を発した瞬間、否応なく過去と現在の地平が融合する。

小林は、多くの死者と交わった。その交わりの「全的な体験」が批評だった。彼の批評は、批評でありながら同時に童話であり続けた。

「おつかさんといふ蛍」の話は、ベルクソンを論じた「感想」の冒頭に書かれた。しかし、この連載は未完のまま放棄された。小林は後年、「感想」の出版を頑なに拒否し、全集に収録することも拒んだ。

しかし、小林は問いを捨てなかった。彼は晩年、『本居宣長』を書くことで、ベルクソン論の先にたどり着こうとした。そこでは宣長の言葉を手繰り寄せることで宣長と交わり、さらに古代日本の名も知らぬ人々と交差した。

私たちは、死者と交わることができているだろうか。水道橋駅を見上げると、おぼろげな街灯が、ほのかに顔を照らす。

（近代日本思想史）

写真：三輪和美

好評既刊

中島岳志
「保守のヒント」

春風接人

父がいます。母がいます。祖父と祖母がいます。弟がいます。これが私の家族でした。父と母と私と弟がのこされました。私も弟も結婚し、新しい家族をつくりました。大きな時間のなかで、ほんの短いつかの間に、切ないぐらい愛しいひとたちと縁がむすばれ、なつかしさを覚え、愛することの深さと広さをたどり、溶け、流れて、おとなになり、新しい縁がむすばれていきます。

タテ十四センチ、ヨコ十一センチの木の枠に嵌った祖父と祖母の写真に、お水をあげ、正座して掌を合わせることが日課となってから、過去と未来が、今ここに流れ込んでくるようです。タイの空港で買った、安価な小さい象の置物を手に取り私に正しき道をおしえようとした祖母の姿が脳裏を離れません。祖母はまた、母に大切なことをつたえて逝ったと、これは母から聞きました。私はいったいだれに、なにを、つたえられるでしょうか。（三）

刊行予定

■京都学派の歴史哲学　小野寺功
■新版・大地の哲学　小野寺功
■フッサール現象学　岡山敬二
■カント伝　M・キューン／菅沢龍文、山根雄一郎共訳
■カントの人権思想　菅沢龍文
■豊崎光一書簡集　豊崎光一書簡集編纂会
■社会学的システム理論の軌跡　赤堀三郎
■エッセイ風都市社会学　吉瀬祐一
■現代中東政治学　末近浩太
■サッチャーのイギリス　香戸美智子
■オール・アバウト・ラブ　宮本敬子・大塚由美子
■米国の対日通貨政策の形成　増永真
■マーケティング・デモクラシー　平林紀子
■江戸・東京の下肥市場　田島夏与
■「差別」の誕生　吉田早悠里
■The Roots Seekers　島村一平
■インカ帝国の成立（スペイン語版）　渡部森哉
■「ダワ」と反乱　岩崎明子
■空間のエスノグラフィー　川床靖子
■越境者の世界史　弘末雅士編
■中心と周縁　内藤辰美・佐久間美穂
■古代ギリシャの死生観　木原志乃
■グレゴリオ・デ・セスペデス　朴哲著／谷口智子訳
■左伝の女たち　尾崎保子
■『土佐日記』の言説研究　佐藤美弥子
■荒野へII　中井晨
■イェイツ夫人の生涯　サドルマイヤー著／大野光子・佐藤容子訳
■名誉革命とイギリス文学　冨樫剛他
■藤沼貴トルストイ論集　藤沼貴トルストイ論集編纂会
■幻想と怪奇の英文学　東雅夫・下楠昌哉
■Contemporary Irish Plays　佐竹晶子
■もう映画はやめた　パトリス・ルコント著／桑原隆行訳
■スコットランド神話　J・ハミルトン著／先川暢郎・橋本修一訳
■スウェーデン民話名作集IV　薮下紘一訳
■ファニー・メンデルスゾーン＝ヘンゼル　U・ビュヒター＝レーマー著／米澤孝子訳
■ブーレ・マルクス　庭園の美学　J・レナール編著／荒井芳廣訳
■フェルナン・レジェ　山本友紀
■盆栽 日本の文化　川崎仁実
■マハーバーラタとラーマーヤナ　前川輝光
■教育の哲学　J・パスモア著／小澤喬訳
■変革的知識人としての教師　H・A・ジルー著／渡部竜也訳
■薙刀と学校教育　井上アヤ子
■21世紀の社会認識教育にむけて　蔭山雅博
■私はどのような教育実践を目指すのか　細川英雄
■野の学校　佐々木光郎
■国際的人材としての日本語教師養成に向けて　平畑奈美
■英語教育の精神と実践　岡田善朗
■理系のためのロジカル英語入門　佐藤美弥子
■暮らしに役立つ日本語便利帳（スペイン語版）　長谷川哲子
■稼ぐためのビジネスドイツ語　石居龍一
■モロッコ・ベルベル語の基礎　石原忠佳
■写真紀行　美しい自然と文化を訪ねて　渋谷興二
■健康自然塾　川村協平
■この世の人生は戦い　橋本真弓・斎藤卓志
■風の想い　松永澄夫

【横浜市立大学新叢書】
■役割演技の心理学　川幡政道
■ホロコーストとは何か　長岐三千輝
■普仏戦争　松井道昭
■主観的韓国論　倉持和雄
■英文学史　白井義昭
■天狼俳句の英訳　古平隆
■教育公務員特例法制定過程の研究　高橋寛人

出版をお考えの方へ
良書の企画をお待ちしています。
電話かメールにて
お気軽に
お問い合わせください。
深い精神性と共鳴する実学
春風社
TEL (045)261-3168
info@shumpu.com

AD：Tamon Yahagi